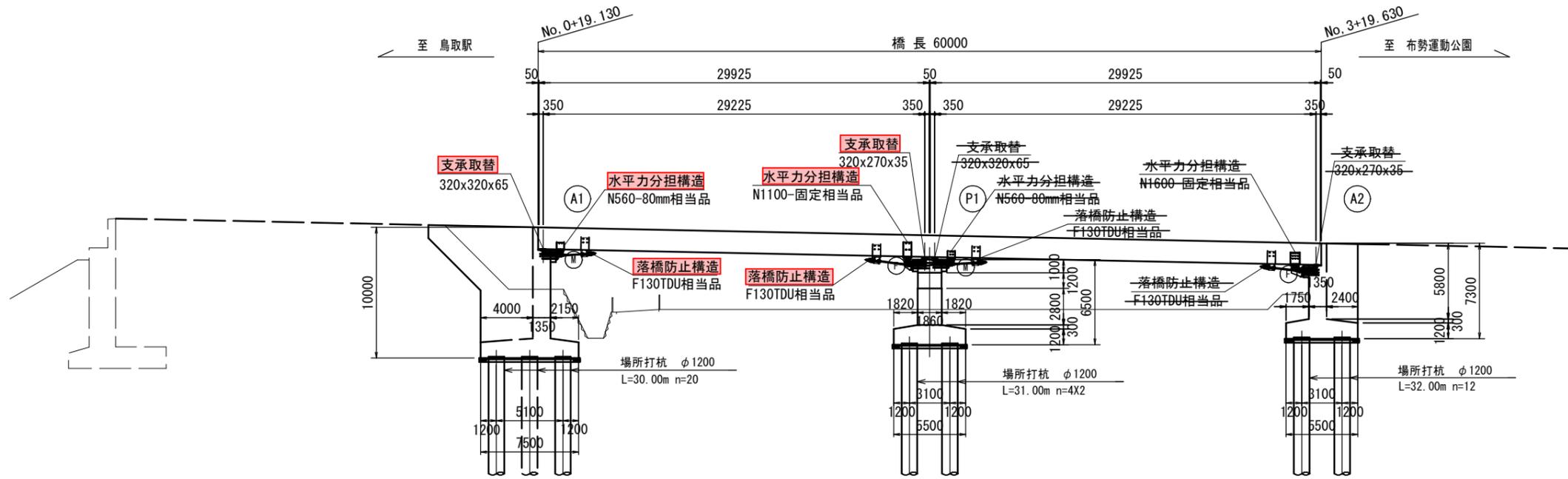
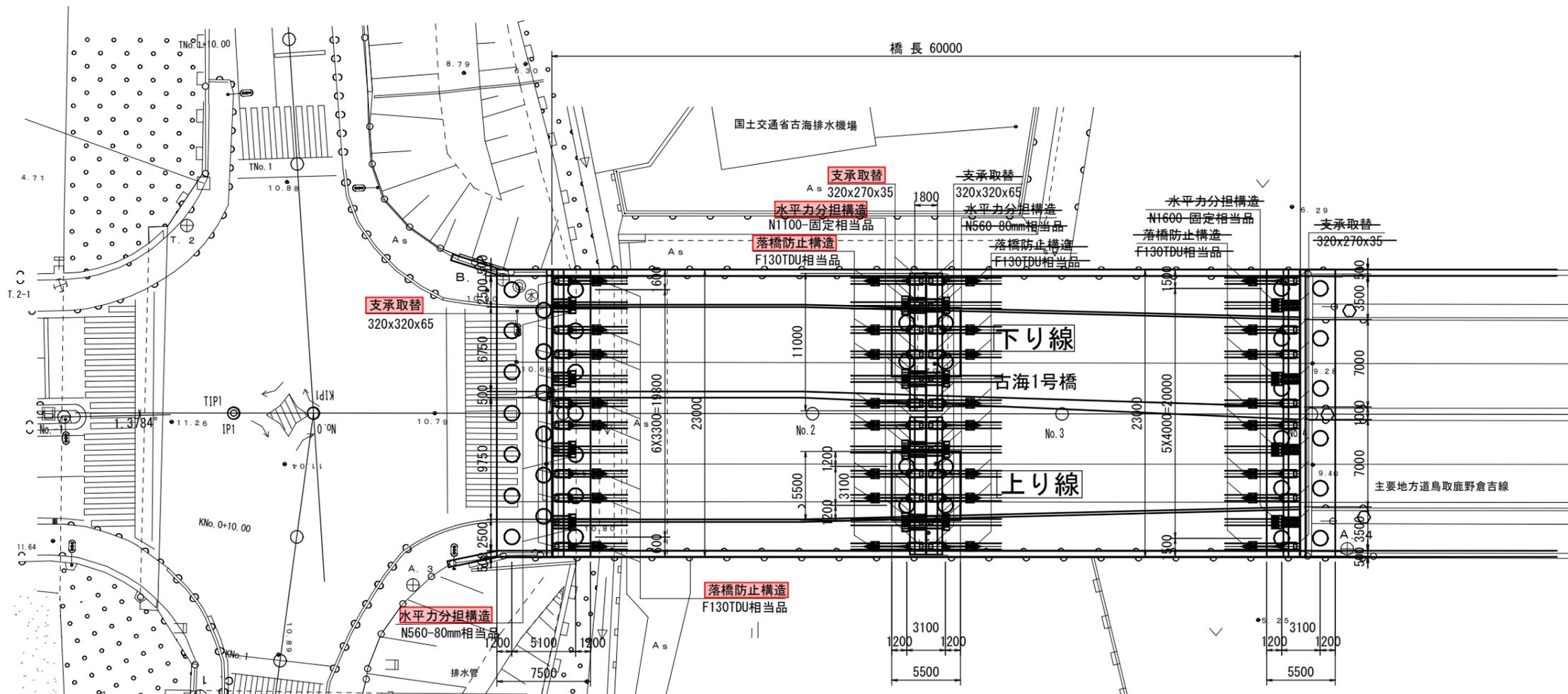


古海1号橋 耐震補強一般図

側面図 S=1/200



平面図 S=1/200

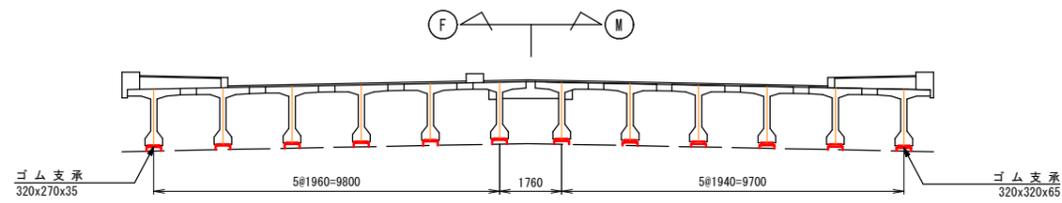


(R6) 現年 公共 実施設計

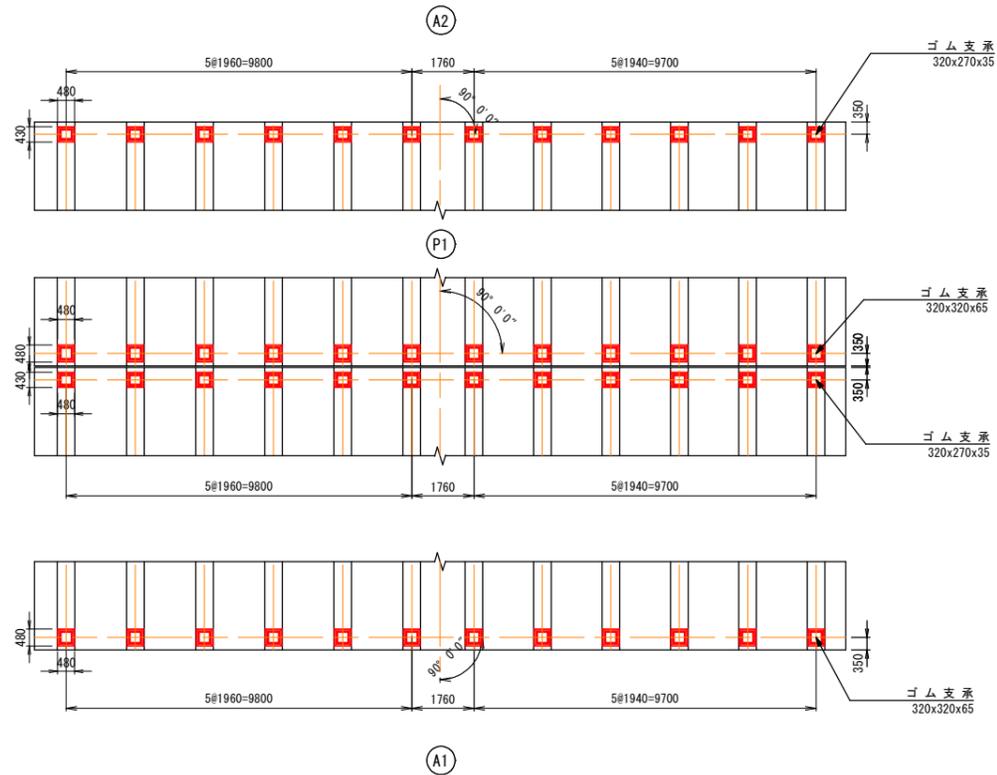
路線名	主要地方道鳥取鹿野倉吉線		
位置	鳥取市 古海		
縮尺	図示	単位	mm
図号	全 20	葉中の内	1
令和 6 年度施行	鳥取県		
鳥取県土整備事務所			

古海1号橋 支承取替詳細図 (その1)

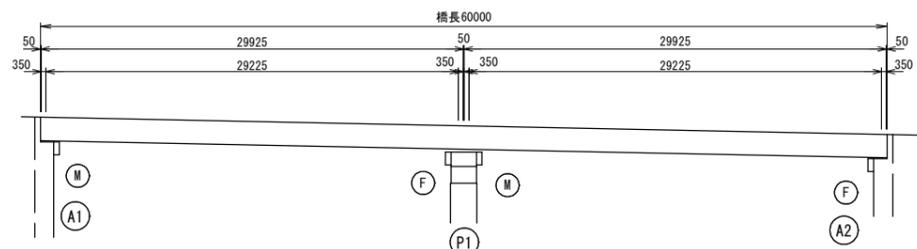
断面図 S=1:100



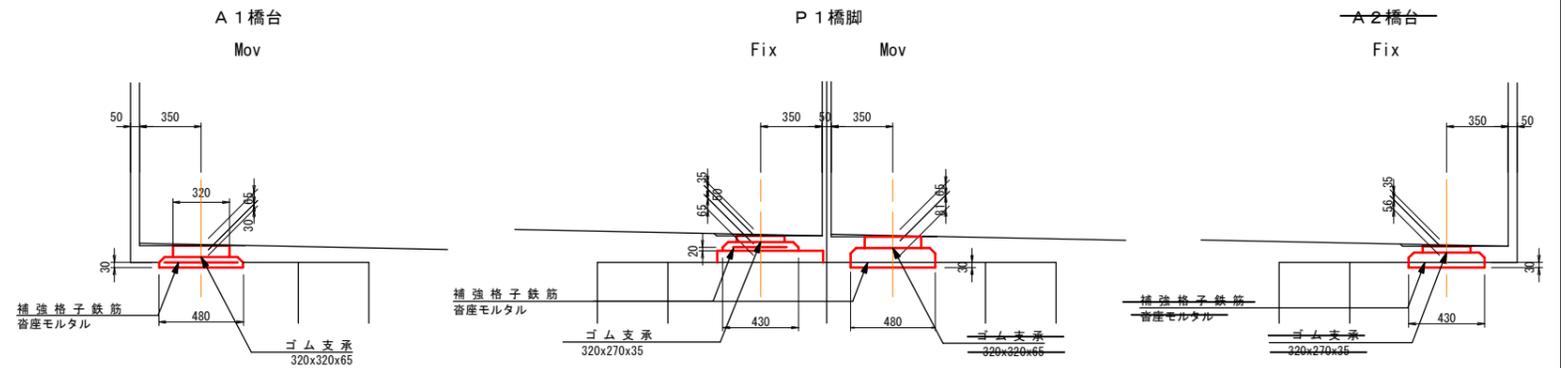
平面図 S=1:100



位置図



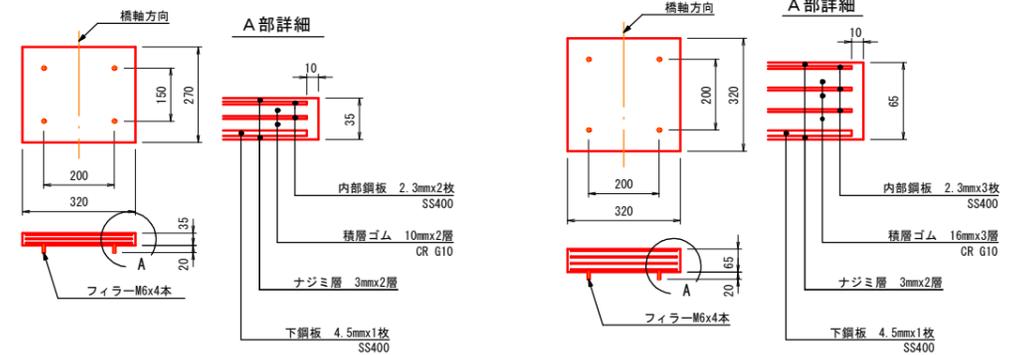
側面図 S=1:20



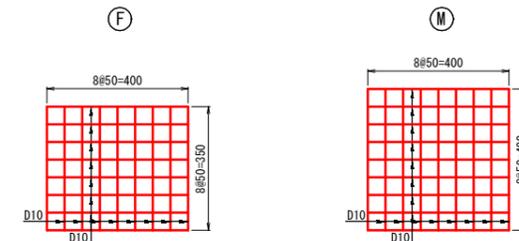
ゴム支承 S=1:10

固定支承

可動支承



補強格子鉄筋 S=1:10



- 注記)
1. 着工前調査において、ジャッキスペースの確認を行うこと。
 2. ジャッキと既設支承との距離を十分に確保すること。
 3. 上部工をジャッキアップする際には、添架管の破損に注意すること。
 4. 図中詳細寸法は、現地実測の上決定のこと。

材料表

名称	寸法	材質	単位	A1	P1L	-P1R	A2	合計	備考
ゴム支承	320x320x65	図示	枚	12		-12		12	DSF相当品 (CR G=10)
ゴム支承	320x270x35	図示	枚		12		-12	12	DSF相当品 (CR G=10)
フラットジャッキ	φ300		組	12	12	-12	-12	24	FJ-80相当品
補強格子鉄筋	350x350	SD295	kg	48.4	42.7	-48.4	-42.7	91.1	D10x50x50
沓座モルタル		無収縮モルタル	m3	0.156	0.114	-0.297	-0.204	0.270	

注) 部材寸法及び設置位置等は、現地測量のうえ決定すること。

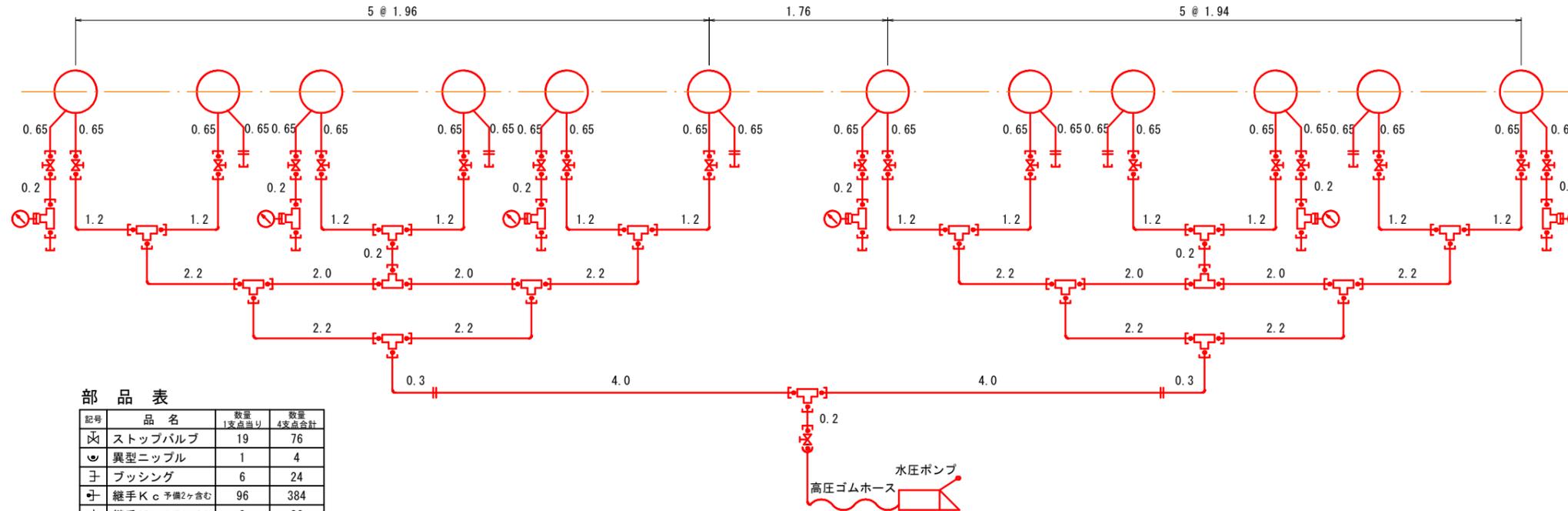
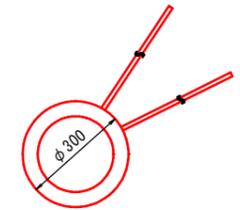
R6 現年
公共 実施設計

路線名	主要地方道鳥取鹿野倉吉線		
県道鳥取鹿野倉吉線 (古海1号橋) 耐震補強工事 (1工区) (補助橋補修)			
図名	古海1号橋 支承取替詳細図 (その1)		
位置	鳥取市 古海		
縮尺	図示	単位	mm
図号	全 20	葉中の内	2
令和 6 年度施行	鳥取県		
	鳥取県土整備事務所		

古海1号橋 支承取替詳細図 (その2)

12台連動配管図

フラットジャッキ S=1:10
FJ-80相当品



部品表

記号	品名	数量 1地点当り	数量 4地点合計
⊠	ストップバルブ	19	76
⊙	異型ニップル	1	4
⊚	フッシング	6	24
⊕	継手K c 予備2ヶ含む	96	384
⊕	継手K u 予備1ヶ含む	9	36
⊖	ストッパー	12	48
⊔	テー	21	84
	部品組立	164	656
—	スケジュール管	66	264

リース品

記号	品名	数量
⊞	水圧ポンプ	1
~	高圧ホース	1
⊙	普通圧力計	6

スケジュール管

- ・ 0.2 m × 9ヶ所 = 1.8m
 - ・ 0.65 m × 24ヶ所 = 15.6m
 - ・ 1.2 m × 12ヶ所 = 14.4m
 - ・ 2.0 m × 4ヶ所 = 8.0m
 - ・ 2.2 m × 8ヶ所 = 17.6m
 - ・ 4.0 m × 2ヶ所 = 8.0m
- 65.4 ≒ 66m

支承取替手順フロー

1. 準備工
2. ジャッキ設置工
3. ジャッキアップ工
4. はつり・旧支承撤去工
5. 新支承設置工
6. 無収縮モルタル打設
7. ジャッキダウン
8. 完成

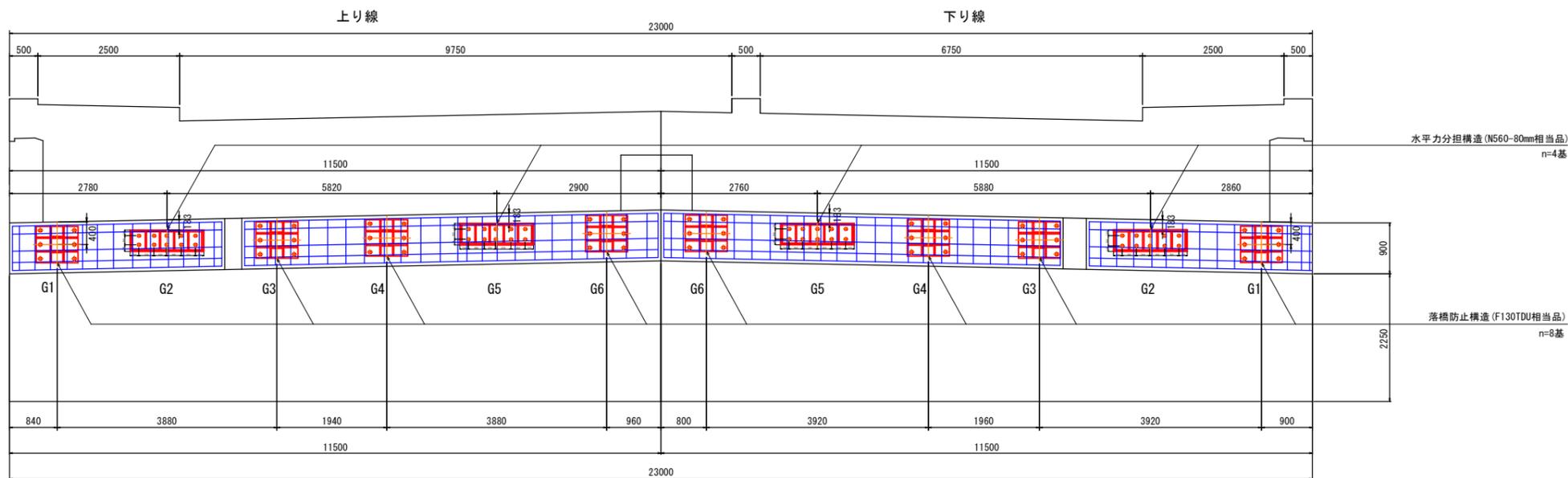
- 注記)
1. 着工前調査において、ジャッキスペースの確認を行うこと。
 2. ジャッキと既設支承との距離を十分に確保すること。
 3. 上部工をジャッキアップする際には、添架管の破損に注意すること。
 4. 図中詳細寸法は、現地実測の上決定のこと。

路線名	主要地方道鳥取野倉吉線		
	県道鳥取野倉吉線(古海1号橋)耐震補強工事(1工区)(補助橋補修)		
図名	古海1号橋 支承取替詳細図(その2)		
位置	鳥取市 古海		
縮尺	図示	単位	mm
図号	全 20	葉中の内	3
令和 6 年度施行	鳥取県		
	鳥取県土整備事務所		

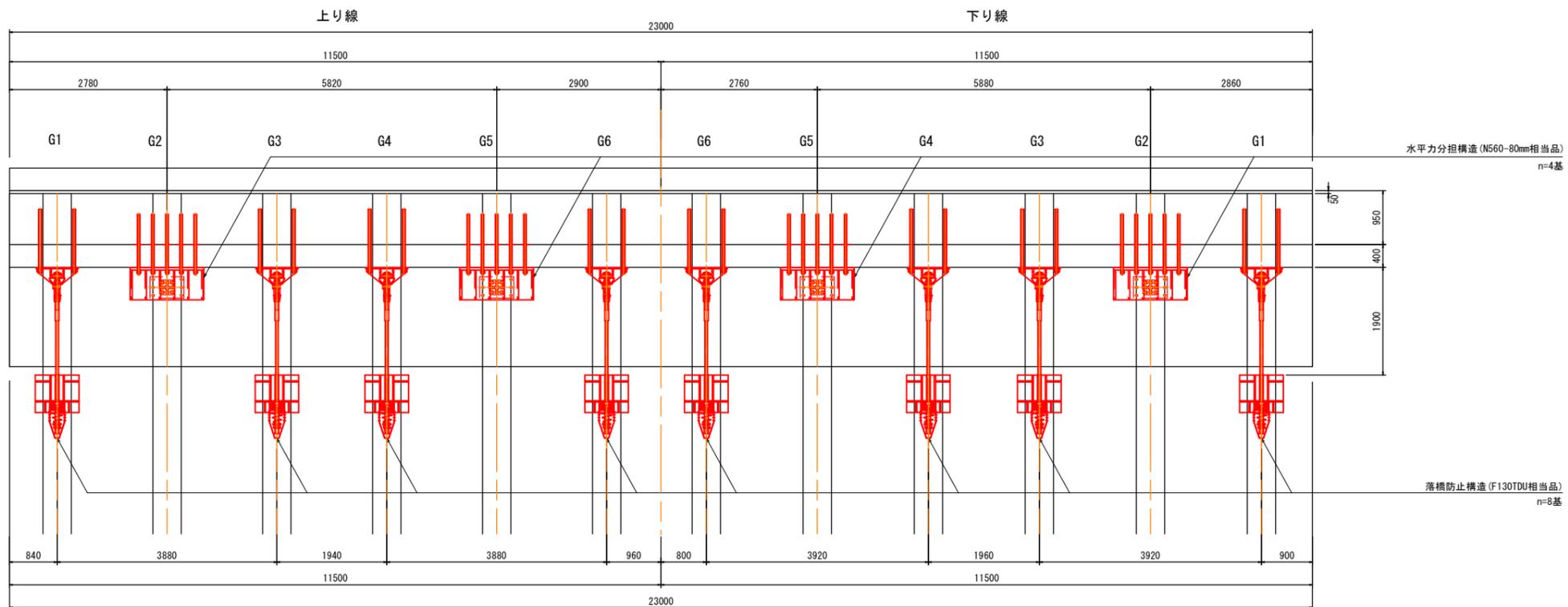
R6 現年
公共 実施設計

A1橋台:取付図

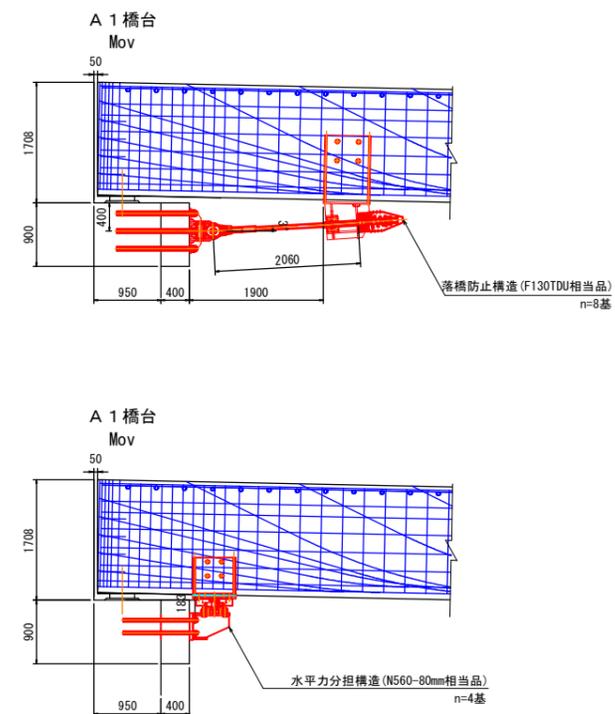
A1橋台 正面図



A1橋台 平面図



A1橋台 側面図



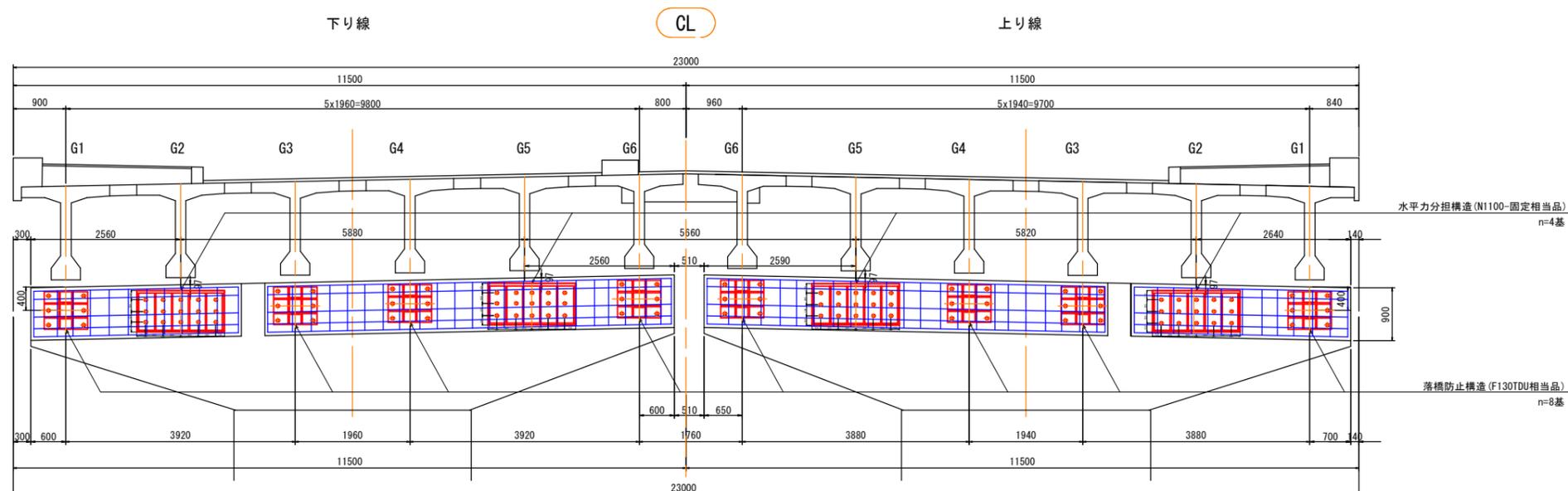
1. 図中詳細寸法は、現地実測の上決定のこと。
2. 既設コンクリートへの削孔の際には、鉄筋探索を実施し既設鉄筋は、切断しないこと。また、既設鉄筋と干渉した場合は、アンカーボルト位置の調整を行うこと。

路線名	主要地方道鳥取鹿野吉線		
県道鳥取鹿野吉線 (古海1号橋) 耐震補強工事 (1工区) (補助橋補修)			
図名	古海1号橋 水平力分担構造及び落橋防止構造取付図 (その1)		
位置	鳥取市 古海		
縮尺	図示	単位	mm
図号	全 20	葉中の内	4
令和 6 年度施行	鳥取県		
	鳥取県土整備事務所		

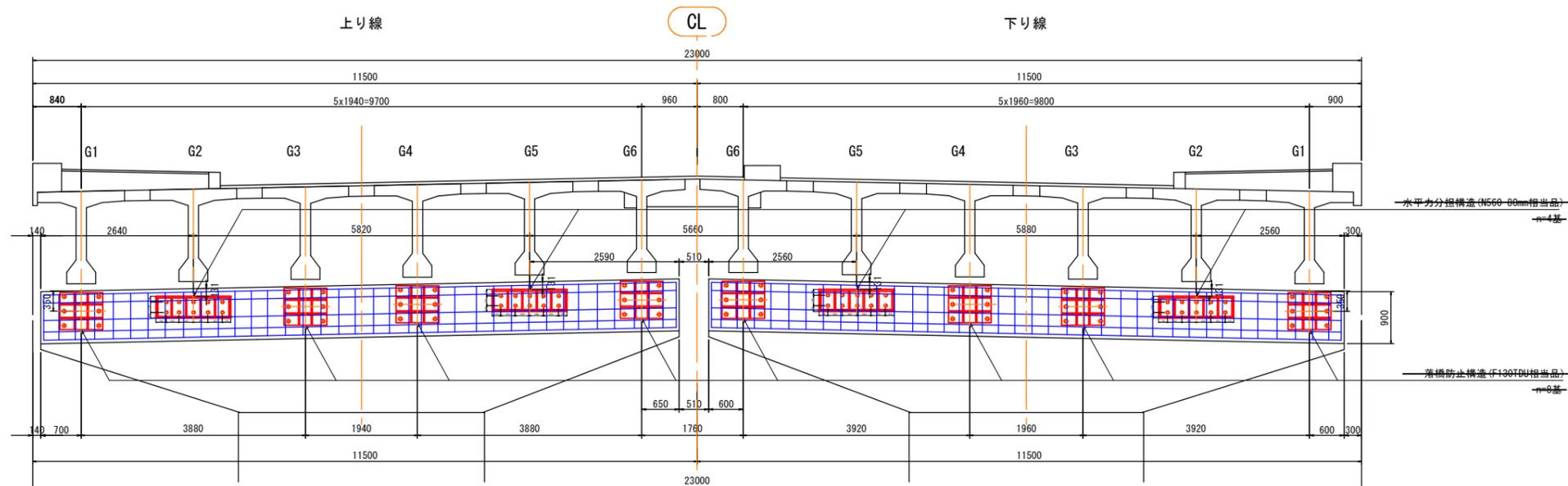
R6 現年
 公 共 実施設計

P1橋脚:取付図

P1橋脚 (起点側) 正面図



P1橋脚 (終点側) 正面図



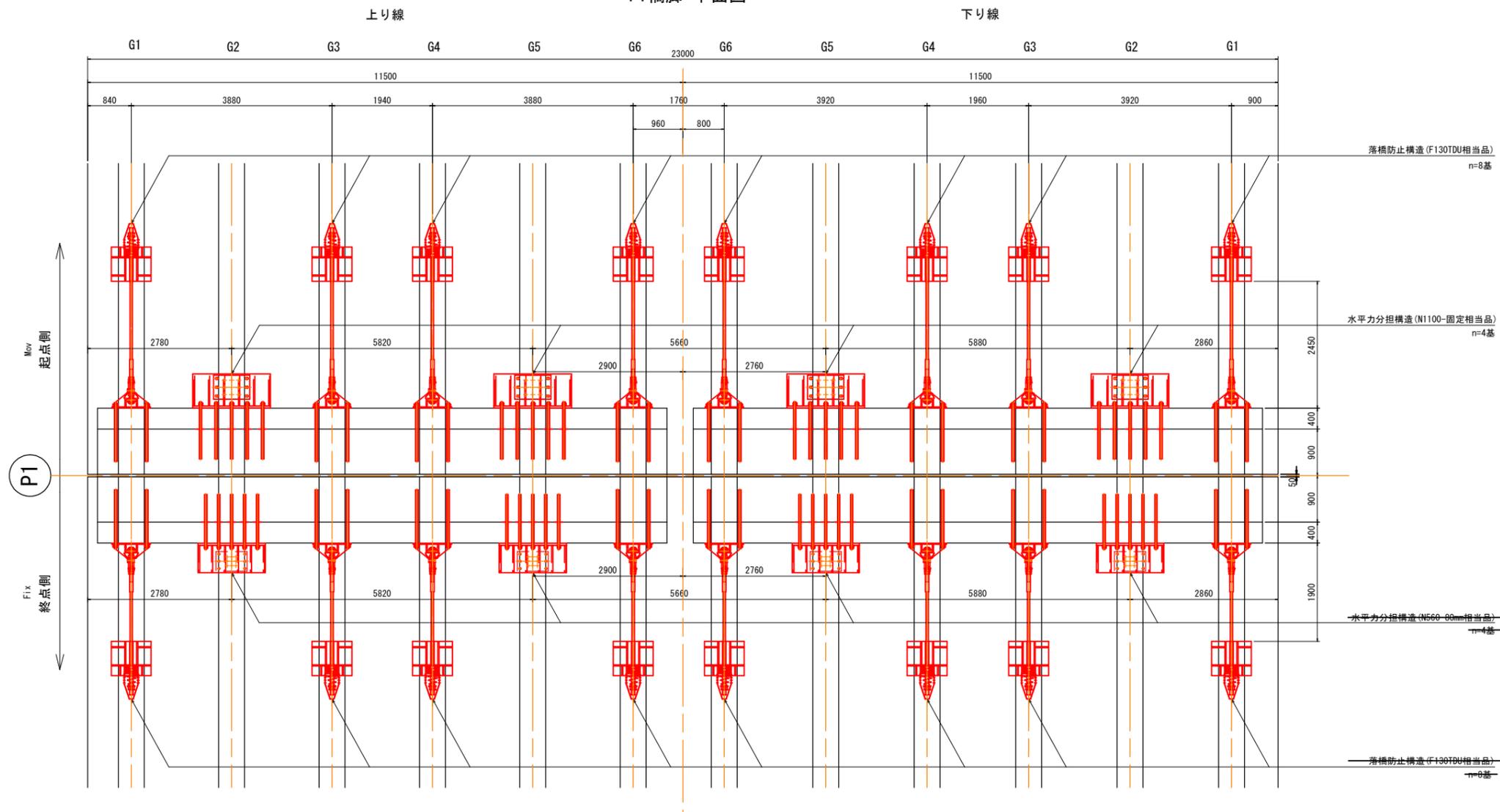
1. 図中詳細寸法は、現地実測の上決定のこと。
2. 既設コンクリートへの削孔の際には、鉄筋探索を実施し既設鉄筋は、切断しないこと。
また、既設鉄筋と干渉した場合は、アンカーボルト位置の調整を行うこと。

路線名	主要地方道鳥取鹿野吉線		
県道鳥取鹿野吉線 (古海1号橋) 耐震補強工事 (1工区) (補助橋補修)			
図名	古海1号橋 水平力分担構造及び落橋防止構造取付図 (その2)		
位置	鳥取市 古海		
縮尺	図示	単位	mm
図号	全 20	葉中の内	5
令和 6 年度施行	鳥取県		
	鳥取県土整備事務所		

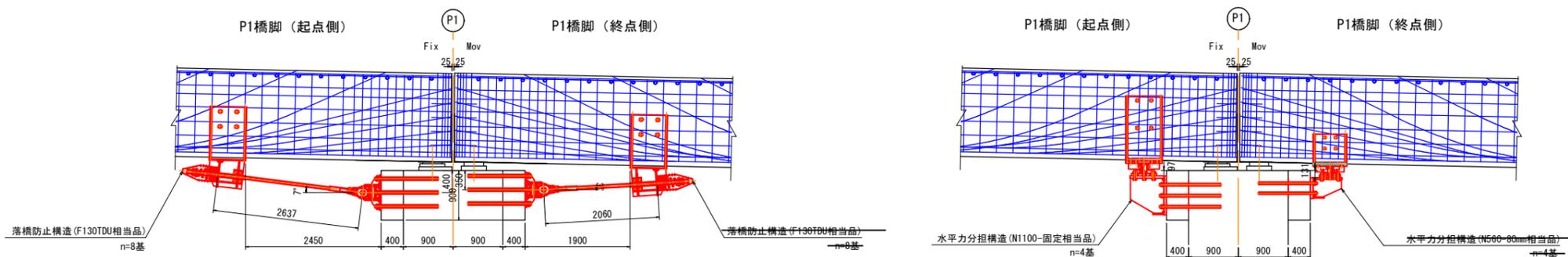
R6 現年
公共 実施設計

P1橋脚:取付図

P1橋脚 平面図



P1橋脚 側面図



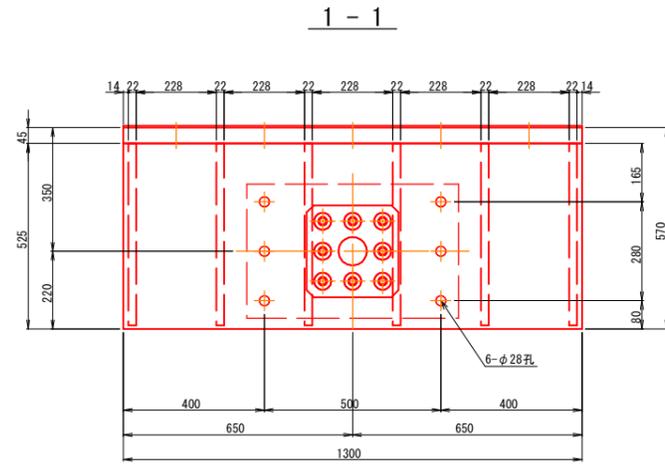
1. 図中詳細寸法は、現地実測の上決定のこと。
2. 既設コンクリートへの削孔の際には、鉄筋探索を実施し既設鉄筋は、切断しないこと。また、既設鉄筋と干渉した場合は、アンカーボルト位置の調整を行うこと。

路線名	主要地方道鳥取野倉吉線		
県道鳥取野倉吉線 (古海1号橋) 耐震補強工事 (1工区) (補助橋補修)			
図名	古海1号橋 水平力分担構造及び落橋防止構造取付図 (その3)		
位置	鳥取市 古海		
縮尺	図示	単位	mm
図号	全 20	葉中の内	6
令和 6 年度施行	鳥取県		
	鳥取県土整備事務所		

R6 現年
公共 実施設計

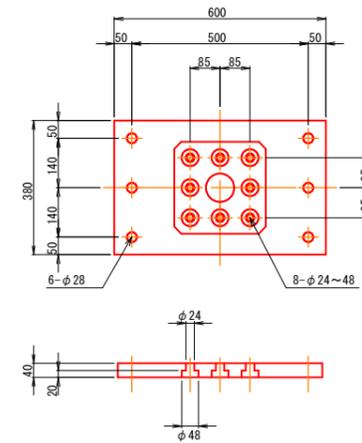
A1橋台, P1橋脚(終点側)取付金物(1)

下部エブラケット詳細図



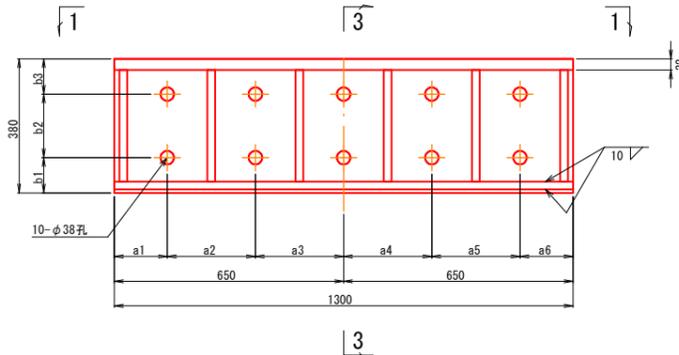
ブラケット1基当り (製作数:4基)
 1-PL 380x45x1300 (SM400C)
 1-PL 525x32x1300
 1-PL 200x22x1300
 6-PL 515x22x316

下部工取付プレート

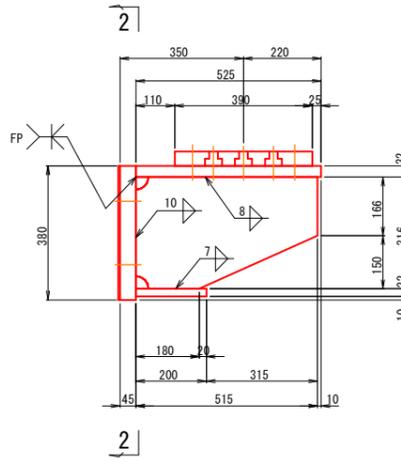


ブラケット1基当り (製作数:4基)
 1-PL 380x40x600 (SM490B)
 6-六角Bolt M24x120 (強度区分8.8)
 [1-N, 2-W, 1SW]

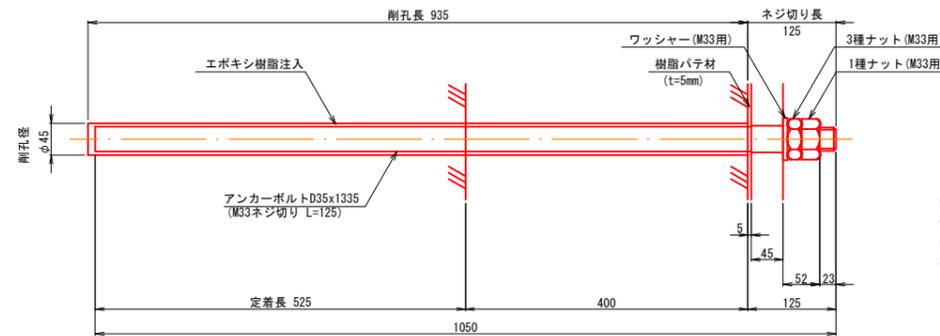
2-2



3-3



アンカーボルト詳細図 S=1:5



ブラケット1基当り (製作数:4基)
 10-AncBolt D35x1050 (SD345)
 10-1種Nut M33用 (SS400)
 10-3種Nut M33用 (SS400)
 10-Washer M33用 (SS400)

※アンカーボルトはネジ切り部のみ溶融亜鉛めっきを施すものとする。

寸法表

		a1	a2	a3	a4	a5	a6	b1	b2	b3	
A1橋台	上り線	G2	150	270	220	260	250	150	120	160	100
	下り線	G5	150	280	200	270	250	150	100	180	100
P1橋脚	上り線	G2	150	250	240	260	250	150	100	180	100
	下り線	G5	150	240	260	250	250	150	100	180	100
中央橋脚	上り線	G2	180	220	250	250	250	150	100	180	100
	下り線	G5	150	250	250	240	260	150	100	170	110
終点橋脚	上り線	G2	150	250	250	250	250	150	100	180	100
	下り線	G5	150	250	260	240	250	150	100	180	100

注記)

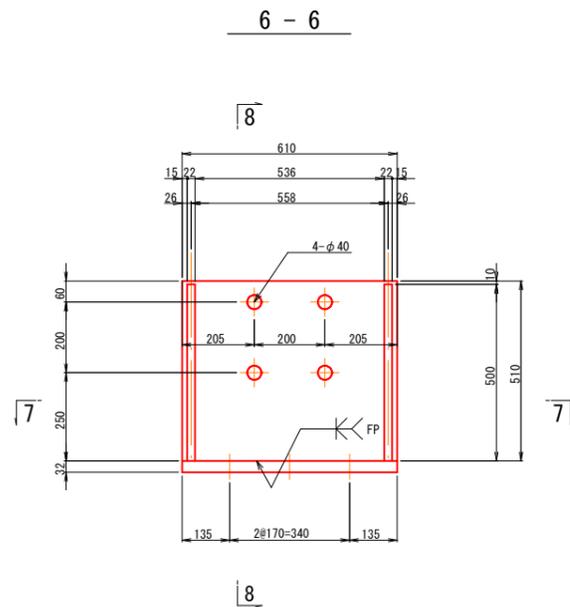
- 特記なき材質は全てSM400Aとする。
- 特記なきスカーラップは35Rとする。
- 部材は全て溶融亜鉛めっき仕上げとする。
垂鉛の付着量はJIS H 8641 HDZ55とする。
但し、ボルト・ナット類はHDZ35とする。
- 図中詳細寸法は、現地実測の上決定のこと。
- 既設コンクリートへの削孔の際には、鉄筋探査を実施し既設鉄筋は、切断しないこと。
また、既設鉄筋と干渉した場合は、アンカーボルト位置の調整を行うこと。

路線名	主要地方道鳥取鹿野倉吉線		
橋名	古海1号橋		
位置	鳥取市 古海		
縮尺	図示	単位	mm
図号	全 20	葉中の内	7
令和 6 年度施行	鳥取県		鳥取県土整備事務所

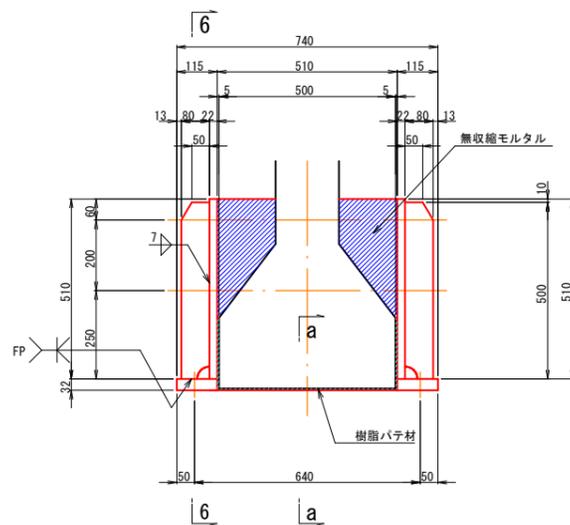
R6 現年
 公 共 実施設計

A1橋台,P1橋脚(終点側)取付金物(2)

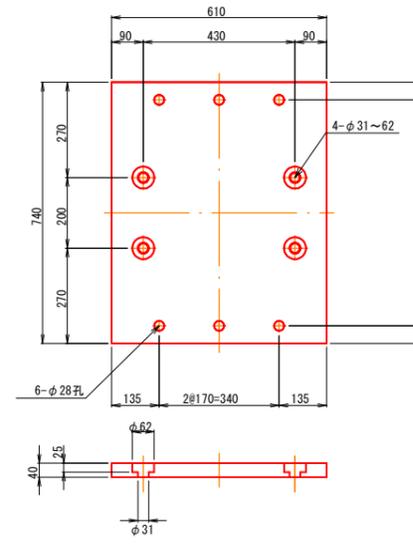
上部エブラケット詳細図



8-8

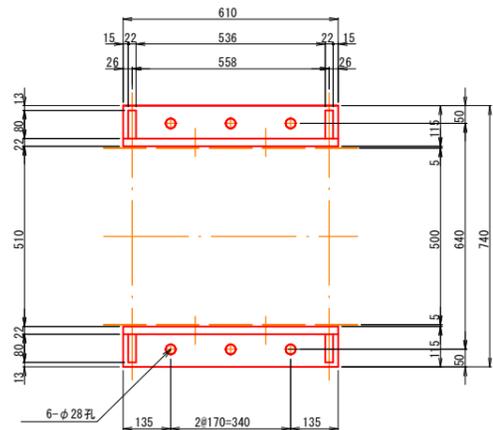


上部工取付プレート

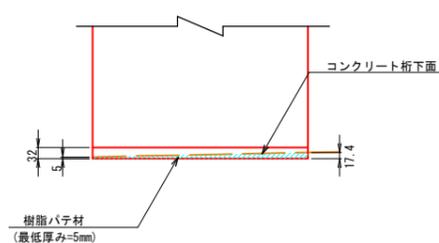


ブラケット1基当り (製作数:4基)
 1-PL 740x40x610 (SS400)
 6-六角Bolt M24x120 (強度区分8.8)
 [1-N, 2-W, 1SW]

7-7



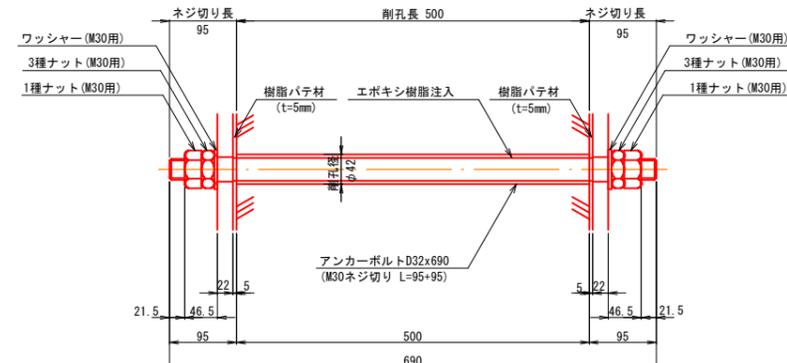
a-a



ブラケット1基当り (製作数:4基)
 2-PL 115x32x610
 2-PL 610x22x510
 4-PL 80x22x500
 4-アンカーボルト D32x690 (SD345)
 8-1種 Nut M30用 (SS400)
 8-3種 Nut M30用 (SS400)
 8-Washer M30用 (SS400)

アンカーボルト詳細図

S=1:5



※アンカーボルトはネジ切り部のみ溶融垂鉛めっきを施すものとする。

注記)

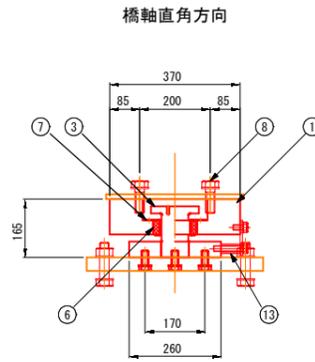
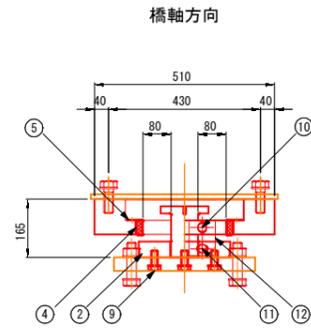
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
2. 特記なきスカーラップは35Rとする。
3. 部材は全て溶融垂鉛めっき仕上げとする。垂鉛の付着量はJIS H 8641 HDZ55とする。但し、ボルト・ナット類はHDZ35とする。
4. 図中詳細寸法は、現地実測の上決定のこと。
5. 既設コンクリートへの削孔の際には、鉄筋探査を実施し既設鉄筋は、切断しないこと。また、既設鉄筋と干渉した場合は、アンカーボルト位置の調整を行うこと。

路線名	主要地方道鳥取鹿野吉線		
県道鳥取鹿野吉線(古海1号橋)耐震補強工事(1工区)(補助橋補修)			
図名	古海1号橋 水平力分担構造詳細図(その2)		
位置	鳥取市 古海		
縮尺	図示	単位	mm
図号	全 20	葉中の内	8
令和 6 年度施行	鳥取県		
	鳥取県土整備事務所		

R6 現年
 公 実施設計

A1橋台, P1橋脚(終点側)取付図及び部品図

取付詳細図

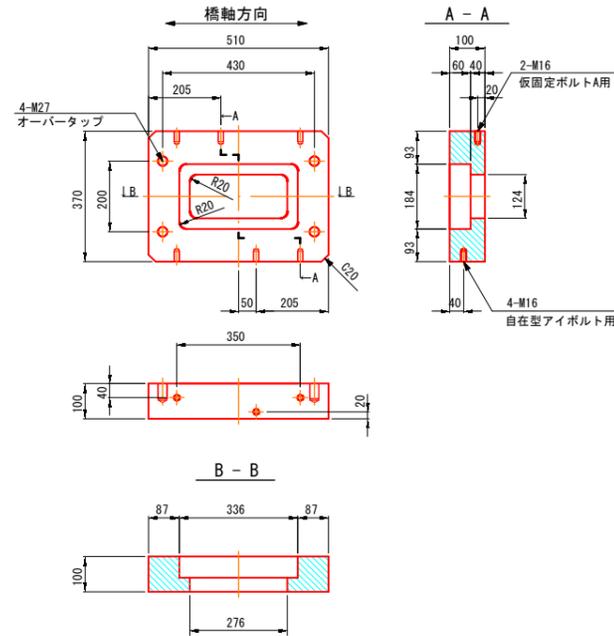


材料表(SEリミッター1基当たり)

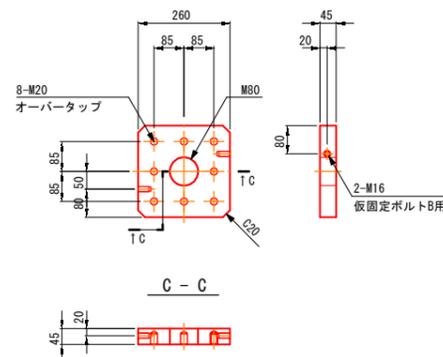
全4組(4組/橋台, 4組/橋脚)

部番	名称	規格	単位	数量	摘要
1	ソールプレート	N560-80相当品	個	1	SM490A:亜鉛アルミ溶射処理
2	リミットピンプレート	N560用相当品	個	1	SM490A:亜鉛アルミ溶射処理
3	リミットピン	N560用相当品	本	1	SCM435相当品:ダクロタイズ処理, DMコート
4	バッファ-A	N560用相当品	個	2	クロロプレングム
5	バッファガイドA	N560用相当品	個	2	SUS
6	バッファ-B	N560用相当品	個	2	クロロプレングム
7	バッファガイドB	N560用相当品	個	2	SUS
8	セットボルト(上側)※	M27x50 1W付	組	4	強度区分8.8:亜鉛めっき(HDZ35)
9	セットボルト(下側)※	M20x45 1W付	組	8	強度区分8.8:亜鉛めっき(HDZ35)
納入時用部材					※ボルトの首下長は、締め付ける板厚を確認の上決定すること。
10	仮固定ボルトA				
11	仮固定ボルトB				
12	仮固定プレート				
13	スペーサー				
14	自在型アイボルト				

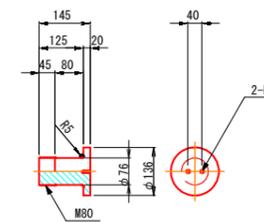
① ソールプレート (SM490A:亜鉛アルミ溶射処理)



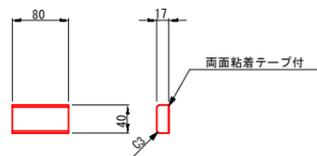
② リミットピンプレート (SM490A:亜鉛アルミ溶射処理)



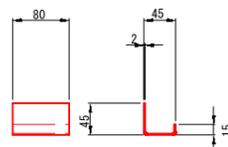
③ リミットピン (SCM435相当品:DMコート)



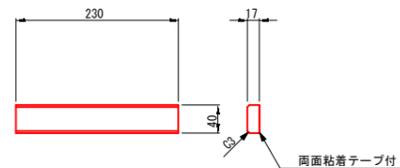
④ バッファ-A S=1:5 (クロロプレングム)



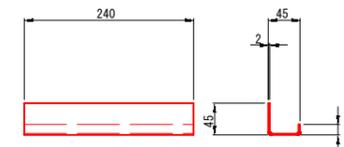
⑤ バッファガイドA S=1:5 (SUS)



⑥ バッファ-B S=1:5 (クロロプレングム)



⑦ バッファガイドB S=1:5 (SUS)



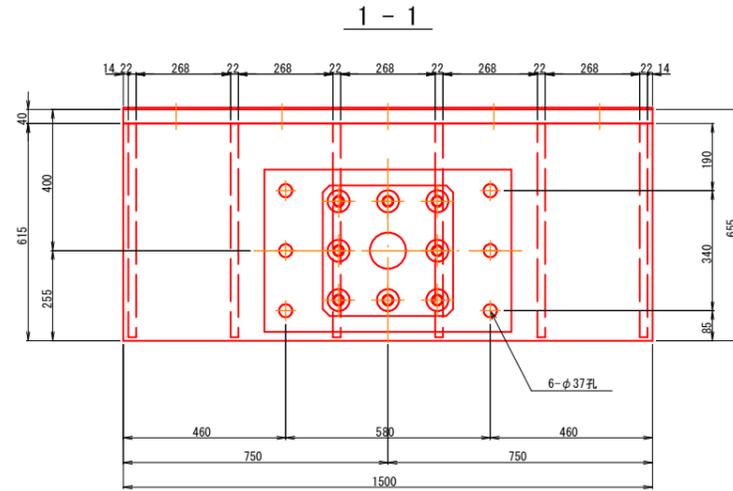
- 注記)
1. 水平力分担構造の納入時組立高さは、取付詳細図に示す製品高+10mm程度とする。
 2. 据付時は仮固定ボルト他、納入時用部材を取り外し、所定の高さで設置すること。
 3. 納入時用部材を取り外した後のタップ孔は樹脂パテ材または樹脂ボルトで埋めること。
 4. 吊り金具は、自在型アイボルト(M16)を1物件当たり8個付属する。

路線名	主要地方道鳥取野倉吉線		
位置	鳥取市 古海		
縮尺	図示	単位	mm
図号	全 20	葉中の内	9
令和 6 年度施行	鳥取県		
	鳥取県土整備事務所		

R6 現年
公共 実施設計

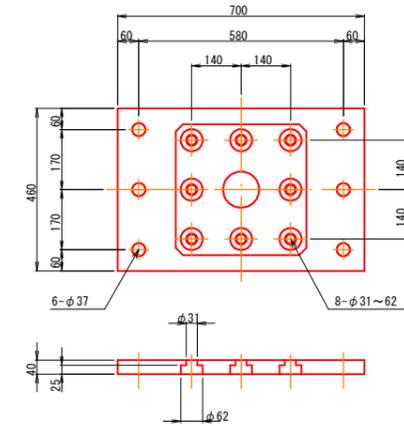
P1橋脚(起点側)取付金物(1)

下部エブラケット詳細図



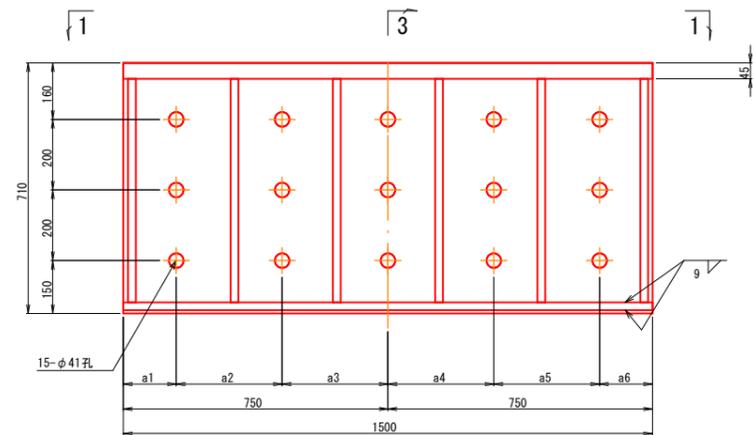
ブラケット1基当り (製作数:4基)
 1-PL 710x40x1500 (SM490B)
 1-PL 615x45x1500 (SM490C)
 1-PL 200x22x1500
 6-PL 633x22x605

下部工取付プレート

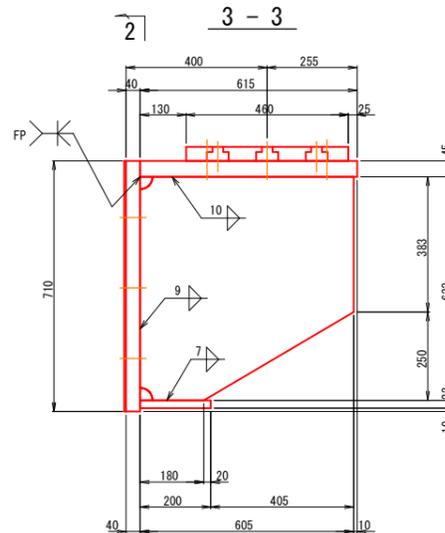


ブラケット1基当り (製作数:4基)
 1-PL 460x40x700 (SM490B)
 6-六角Bolt M33x150 (強度区分8.8)
 [1-N, 2-W, 1SW]

2-2

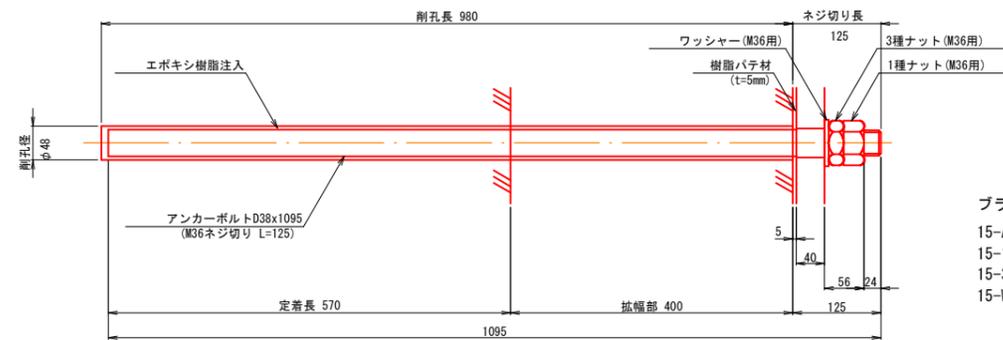


3-3



アンカーボルト詳細図

S=1:5



ブラケット1基当り (製作数:4基)
 15-AncBolt D38x1095 (SD345)
 15-1種Nut M36用 (SS400)
 15-3種Nut M36用 (SS400)
 15-Washer M36用 (SS400)

※アンカーボルトはネジ切り部のみ溶融亜鉛めっきを施すものとする。

寸法表

		a1	a2	a3	a4	a5	a6	b1	b2	b3	b4
P1橋脚 上り線	G2	150	300	300	300	300	150	150	200	200	160
	G5	150	300	300	300	300	150	160	190	200	160
下り線	G2	150	300	300	300	300	150	170	180	200	160
	G5	150	330	270	280	280	190	160	210	180	160

注記)

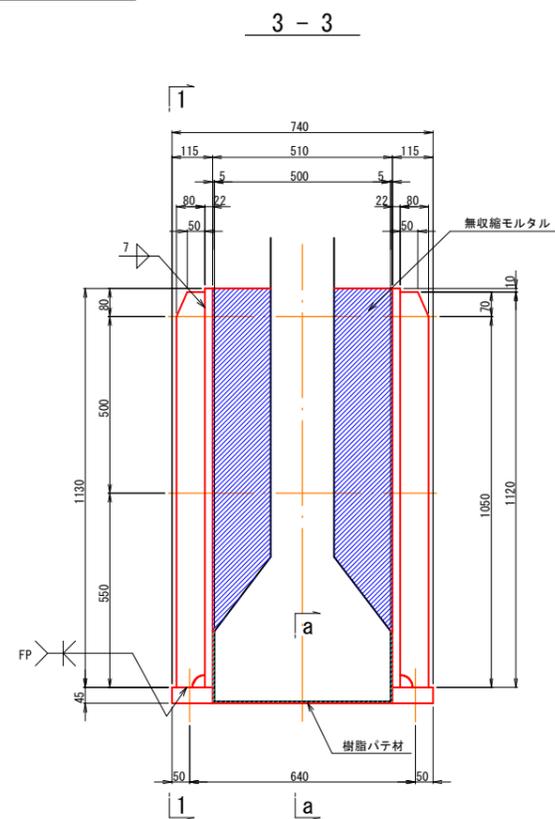
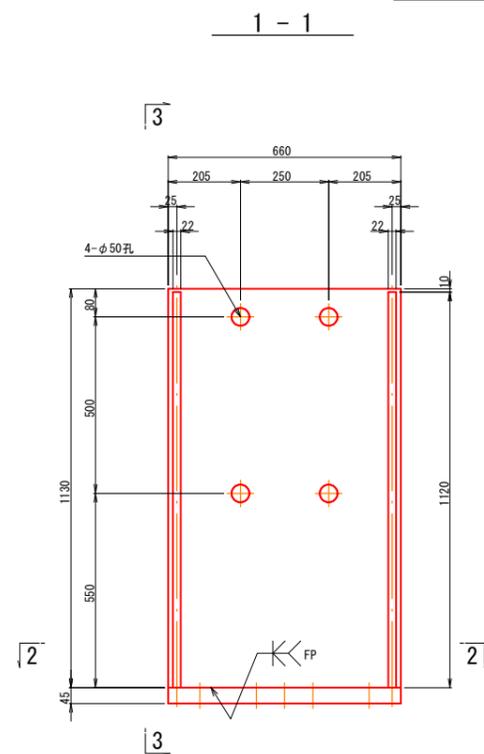
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
2. 特記なきスカーラップは35Rとする。
3. 部材は全て溶融亜鉛めっき仕上げとする。
垂鉛の付着量はJIS H 8641 HDZ55とする。
但し、ボルト・ナット類はHDZ35とする。
4. 図中詳細寸法は、現地実測の上決定のこと。
5. 既設コンクリートへの削孔の際には、鉄筋探査を実施し既設鉄筋は、切断しないこと。
また、既設鉄筋と干渉した場合は、アンカーボルト位置の調整を行うこと。

路線名	主要地方道鳥取鹿野吉線		
県道鳥取鹿野吉線(古海1号橋)耐震補強工事(1工区)(補助橋補修)			
図名	古海1号橋 水平力分担構造詳細図(その4)		
位置	鳥取市 古海		
縮尺	図示	単位	mm
図号	全 20	葉中の内	10
令和 6 年度施行	鳥取県		
	鳥取県土整備事務所		

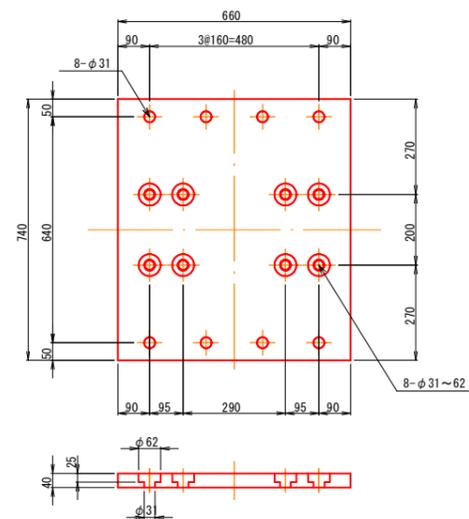
R6 現年
 公 実施設計

P1橋脚(起点側) 取付金物(2)

上部エブラケット詳細図

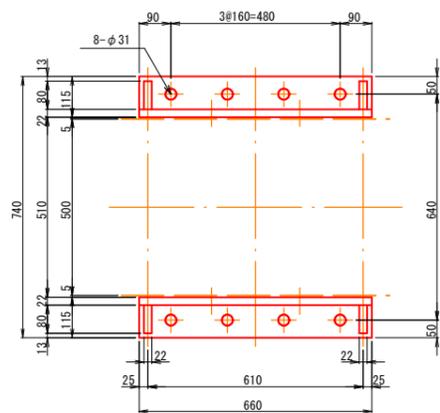


上部工取付プレート

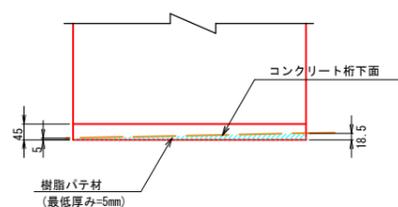


プレート1基当り (製作数:4基)
 1-PL 740x40x660 (SS400)
 8-六角Bolt M27x140 (強度区分8.8)
 [1-N, 2-W, 1SW]

2-2



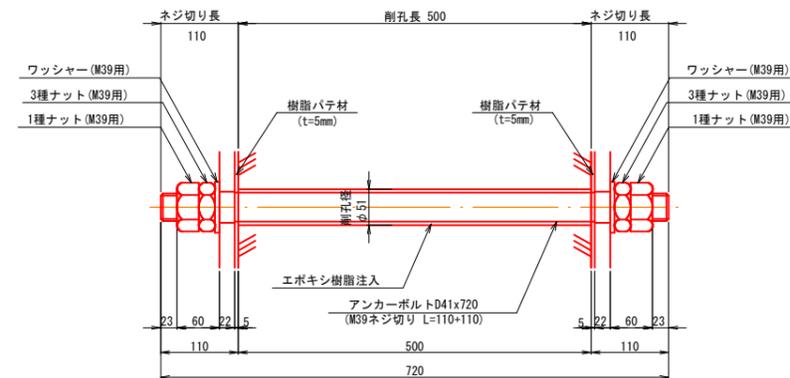
a-a



プレート1基当り (製作数:4基)
 2-PL 115x45x 660 (SM400C)
 2-PL 1130x22x 660
 4-PL 80x22x1120
 4-アンカーボルト D41x720 (SD345)
 8-1種Nut M39用 (SS400)
 8-3種Nut M39用 (SS400)
 8-Washer M39用 (SS400)

アンカーボルト詳細図

S=1:5



※アンカーボルトはネジ切り部のみ溶融亜鉛めっきを施すものとする。

注記)

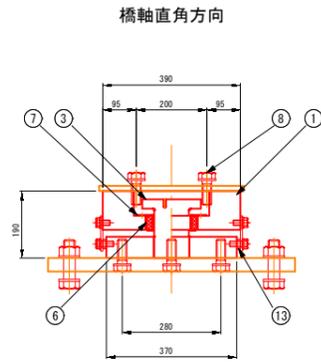
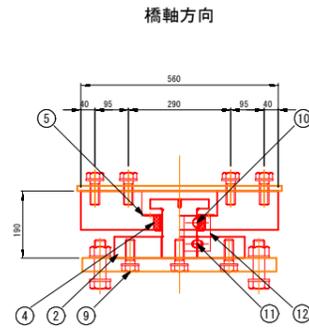
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
2. 特記なきスカーラップは35Rとする。
3. 部材は全て溶融亜鉛めっき仕上げとする。
垂鉛の付着量はJIS H 8641 HDZ55とする。
但し、ボルト・ナット類はHDZ35とする。
4. 図中詳細寸法は、現地実測の上決定のこと。
5. 既設コンクリートへの削孔の際には、鉄筋探査を実施し既設鉄筋は、切断しないこと。
また、既設鉄筋と干渉した場合は、アンカーボルト位置の調整を行うこと。

路線名	主要地方道鳥取鹿野吉線		
県道鳥取鹿野吉線(古海1号橋)耐震補強工事(1工区)(補助橋補修)			
図名	古海1号橋 水平力分担構造詳細図(その5)		
位置	鳥取市 古海		
縮尺	図示	単位	mm
図号	全 20	葉中の内	11
令和 6 年度施行	鳥取県		
	鳥取県土整備事務所		

R6 現年
 公 共 実施設計

P1橋脚(起点側)取付図及び部品図

取付詳細図

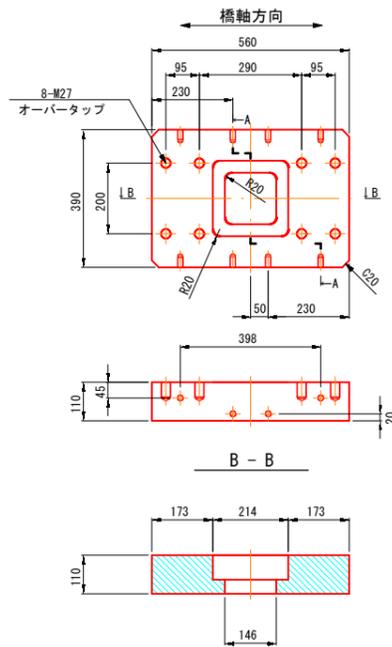


材料表(SEリミッター1基当たり)

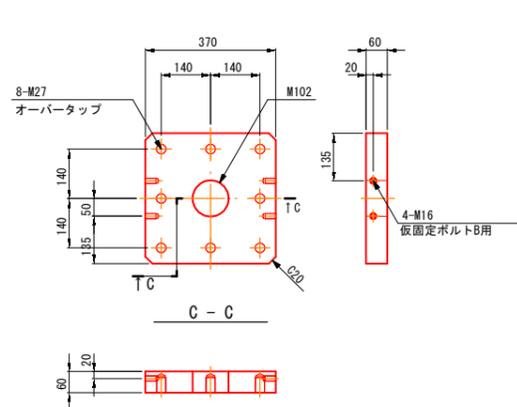
全4基

部番	名称	規格	単位	数量	摘要
1	ソールプレート	N1100-固定相当品	個	1	SM490A:亜鉛アルミ溶射処理
2	リミットピンプレート	N1100用相当品	個	1	SM490A:亜鉛アルミ溶射処理
3	リミットピン	N1100用相当品	本	1	SCM435相当品:ダクロタイズ処理,DMコート
4	バッファ-A	N1100用相当品	個	2	クロロプレングム
5	バッファガイドA	N1100用相当品	個	2	SUS
6	バッファ-B	N1100用相当品	個	2	クロロプレングム
7	バッファガイドB	N1100用相当品	個	2	SUS
8	セットボルト(上側)※	M27x50 1W付	組	8	強度区分8.8:亜鉛めっき(HDZ35)
9	セットボルト(下側)※	M27x50 1W付	組	8	強度区分8.8:亜鉛めっき(HDZ35)
納入時用部材					※ボルトの首下長は、締め付ける板厚を確認の上決定すること。
10	仮固定ボルトA				
11	仮固定ボルトB				
12	仮固定プレート				
13	スペーサー				
14	自在型アイボルト				

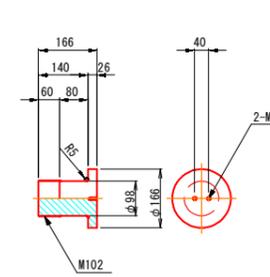
① ソールプレート
(SM490A:亜鉛アルミ溶射処理)



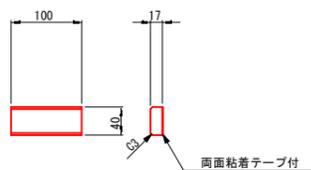
② リミットピンプレート
(SM490A:亜鉛アルミ溶射処理)



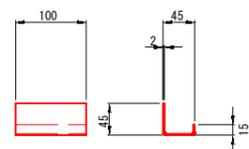
③ リミットピン
(SCM435相当品:DMコート)



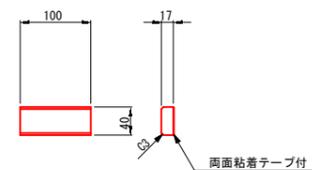
④ バッファ-A
(クロロプレングム) S=1:5



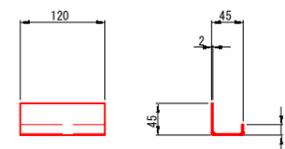
⑤ バッファガイドA
(SUS) S=1:5



⑥ バッファ-B
(クロロプレングム) S=1:5



⑦ バッファガイドB
(SUS) S=1:5



- 注記)
- 水平力分担構造の納入時組立高さは、取付詳細図に示す製品高+10mm程度とする。
 - 据付時は仮固定ボルト他、納入時用部材を取り外し、所定の高さで設置すること。
 - 納入時用部材を取り外した後のタップ孔は樹脂パテ材または樹脂ボルトで埋めること。
 - 吊り金具は、自在型アイボルト(M16)を1物件当たり8個付属する。

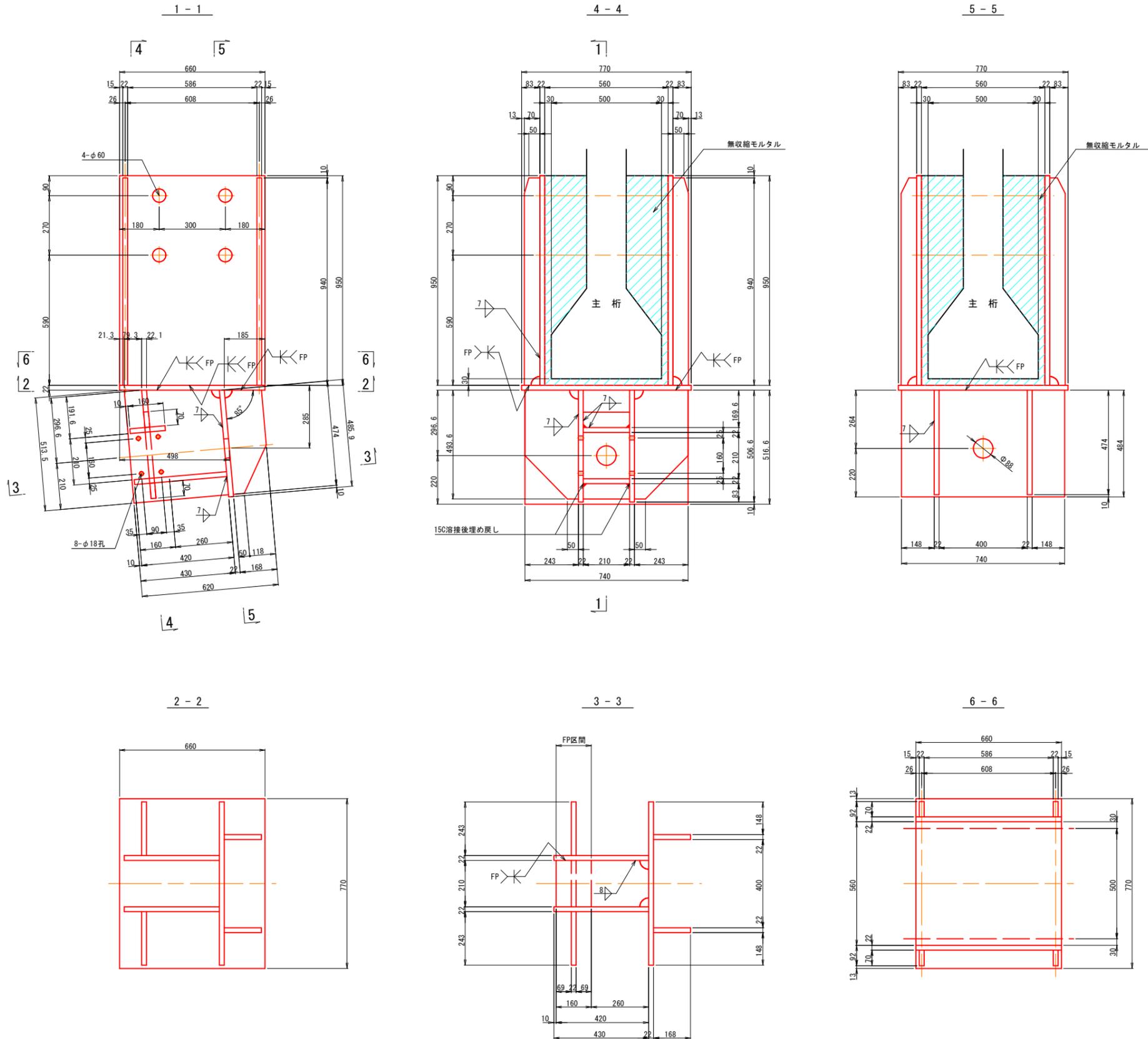
路線名	主要地方道鳥取鹿野吉線		
県道鳥取鹿野吉線(古海1号橋)耐震補強工事(1工区)(補助橋補修)			
図名	古海1号橋 水平力分担構造詳細図(その6)		
位置	鳥取市 古海		
縮尺	図示	単位	mm
図号	全 20	葉中の内	12
令和 6 年度施行	鳥取県		
	鳥取県土整備事務所		

R6 現年
公 共 実施設計

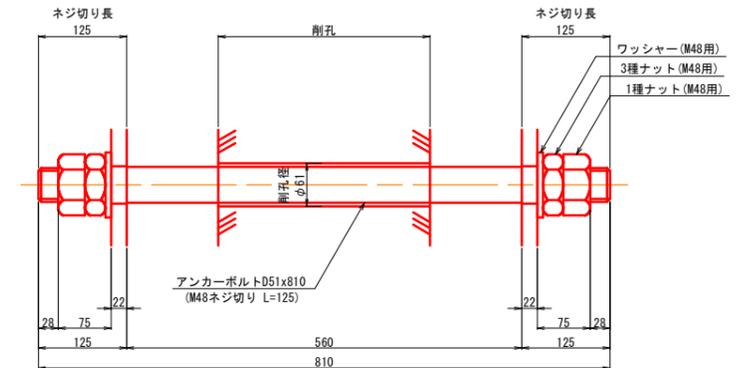
古海1号橋 落橋防止構造詳細図(その1) S=1:10

A1, A2橋台, P1橋脚(起点側・終点側): 上部エブラケット

ブラケット詳細図



アンカーボルト詳細図 S=1:5



※アンカーボルトはネジ切り部のみ溶融垂鉛めつきを施すものとする。

ブラケット1基当り(製作数:32基)

- 2-PL 168x22x474
- 2-PL 430x22x514
- 2-PL 243x22x494
- 2-PL 70x22x210
- 1-PL 210x22x420
- 1-PL 160x22x210
- 1-PL 486x22x740
- 1-PL 660x22x770
- 4-PL 70x22x940
- 2-PL 660x22x950
- 4-Anc Bolt D51x810(SD345)
- 8-1種 Nut M48用(SS400)
- 8-3種 Nut M48用(SS400)
- 8-Washer M48用(SS400)

注記)

1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
2. 特記なきスカーラップは35Rとする。
3. 部材は全て溶融垂鉛めつき仕上げとする。
垂鉛の付着量はJIS H 8641 HDZ55とする。
但し、ボルト・ナット類はHDZ35とする。
4. 図中詳細寸法は、現地実測の上決定のこと。
5. 既設コンクリートへの削孔の際には、鉄筋探査を実施し既設鉄筋は、切断しないこと。
また、既設鉄筋と干渉した場合は、アンカーボルト位置の調整を行うこと。

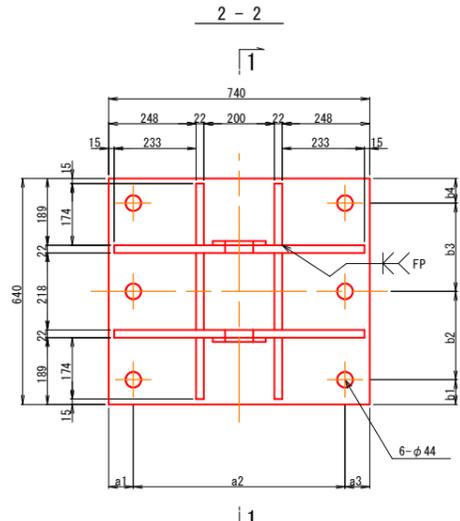
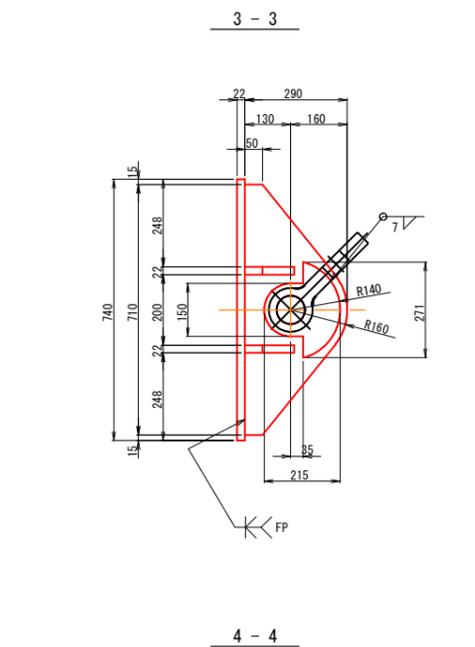
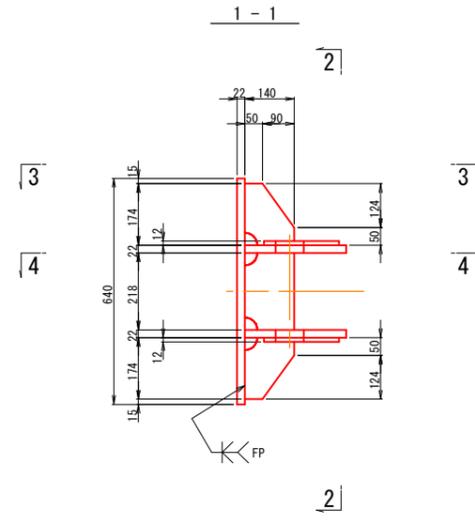
路線名	主要地方道鳥取鹿野吉線		
県道鳥取鹿野吉線(古海1号橋)耐震補強工事(1工区)(補助橋補修)			
図名	古海1号橋 落橋防止構造詳細図(その1)		
位置	鳥取市 古海		
縮尺	図示	単位	mm
図号	全 20	葉中の内	13
令和6年度施行	鳥取県		
	鳥取県土整備事務所		

R6 現年
公共 実施設計

古海1号橋 落橋防止構造詳細図(その2) S=1:10

A1, A2橋台, P1橋脚(起点側-終点側): 下部エブラケット

ブラケット詳細図



ブラケット1基当り(製作数:8基)

- 2-PL 215x12x271
- 2-PL 290x22x710
- 4-PL 140x22x174
- 2-PL 140x22x218
- 1-PL 740x22x640
- 6-Anc Bolt D41x1125 (SD345)
- 6-1種 Nut M39用 (SS400)
- 6-3種 Nut M39用 (SS400)
- 6-Washer M39用 (SS400)

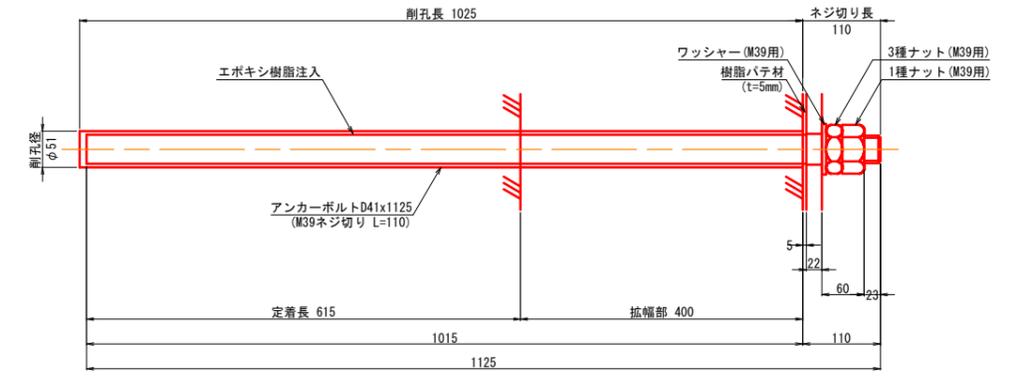
寸法表

	a1	a2	a3	b1	b2	b3	b4	基数
①	70	600	70	70	250	250	70	14
②	70	560	110	100	220	230	90	2
③	70	560	110	100	220	250	70	7
④	70	600	70	120	200	250	70	4
⑤	70	540	130	70	250	250	70	1
⑥	140	530	70	70	250	229	91	1
⑦	120	500	120	70	250	250	70	2
⑧	110	560	70	100	220	250	70	1

ブラケット対応表

	上り線		下り線	
	②	①	③	①
A1橋台	G1桁	②	①	
	G3桁	③	①	
	G4桁	③	①	
P1橋脚 起点側	G1桁	②	①	
	G3桁	⑤	③	
	G4桁	③	③	
P1橋脚 終点側	G1桁	①	⑦	
	G3桁	①	⑥	
	G4桁	③	①	
A2橋台	G1桁	④	④	
	G3桁	①	⑧	
	G4桁	①	④	
	G6桁	⑦	①	

アンカーボルト詳細図 S=1:5



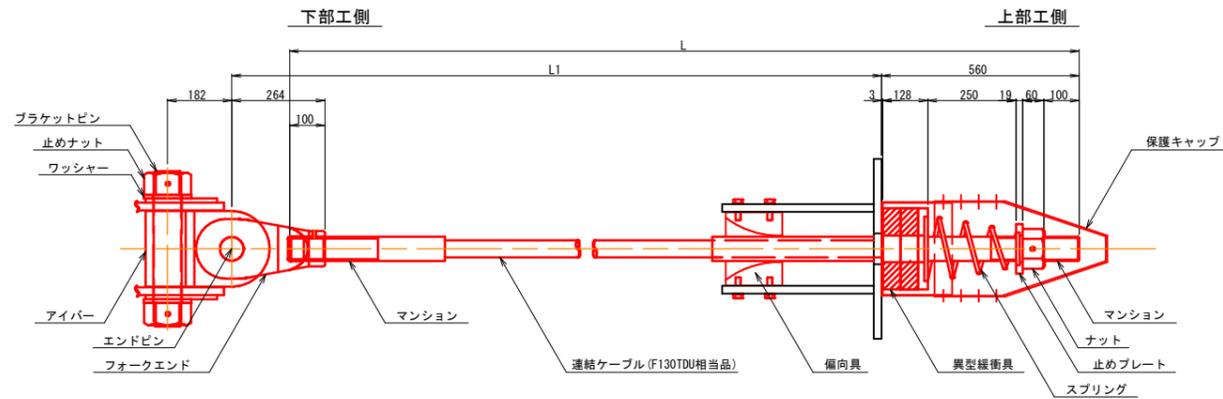
※アンカーボルトはネジ切り部のみ溶融垂鉛めっきを施すものとする。

- 注記)
1. 特記なき材質は全てSM490Aとする。
 2. 特記なきスカーラップは35Rとする。
 3. 部材は全て溶融垂鉛めっき仕上げとする。
垂鉛の付着量はJIS H 8641 HDZ55とする。
但し、ボルト・ナット類はHDZ35とする。
 4. ブラケットは、現場実測確認のうえ、製作を行うこと。
 5. 図中詳細寸法は、現地実測の上決定のこと。
 6. 既設コンクリートへの削孔の際には、鉄筋探査を実施し既設鉄筋は、切断しないこと。
また、既設鉄筋と干渉した場合は、アンカーボルト位置の調整を行うこと。

路線名	主要地方道鳥取鹿野吉線		
県道鳥取鹿野吉線(古海1号橋)耐震補強工事(1工区)(補助橋補修)			
図名	古海1号橋 落橋防止構造詳細図(その2)		
位置	鳥取市 古海		
縮尺	図示	単位	mm
図号	全 20	葉中の内	14
令和 6 年度施行	鳥取県		
鳥取県土整備事務所			

R6 現年
公 共 実施設計

取付詳細図



材料表 (落橋防止構造1組当たり)

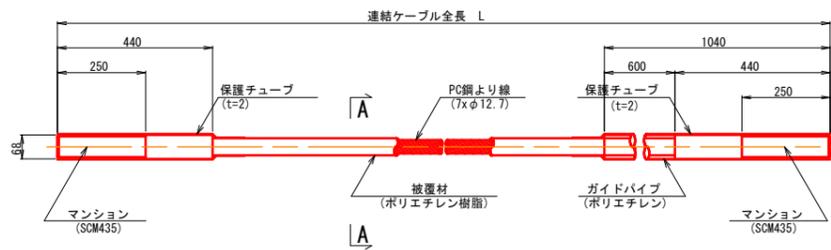
全16組

名称	規格	単位	数量	摘要
連結ケーブル	F130TDU相当品 L=mm ※寸法表参照	本	1	PC鋼より線, ポリエチレン被覆
(マンション)	F130TDU相当品 標準	個	2	SCM435, ネジきり標準 <ケーブルに組込>
(ガイドパイプ)	F130TDU相当品 600mm	本	1	ポリエチレン <ケーブルに組込>
ナット	F130TDU相当品	個	1	S45C: 垂鉛めっき (HDZ55)
止めプレート	F130TDU相当品	個	1	SS400相当品: 垂鉛めっき (HDZ55)
スプリング	F130TDU相当品 L=400	個	1	SW-C: 垂鉛めっき, クロメート処理
異型緩衝具	F130TDU相当品	個	1	SS400相当品: 垂鉛めっき (HDZ55) + 合成ゴム
偏向具	F130TDU相当品	個	1	ポリエチレン
(取付ボルト)	M16x50 1W付	本	8	SS400相当品: 垂鉛めっき (HDZ55) 接着剤付
保護キャップ	F130TDU相当品	組	1	ポリエチレン: 8-止めビス付
ブラケットピン	F130TDU相当品	本	1	SCM435, ダクロダイズ処理, DMコート
止めナット	F130TDU相当品	個	2	S45C: 垂鉛めっき (HDZ55)
ワッシャー	F130TDU相当品	個	2	SS400: 垂鉛めっき (HDZ55)
アイバー	F130TDU相当品	個	1	S45C: 垂鉛めっき (HDZ55)
フォークエンド	F130TDU相当品	個	1	S45C: 垂鉛めっき (HDZ55)
エンドピン (ピン)	F130TDU相当品	本	1	SCM435, ダクロダイズ処理, DMコート
(止めプレート)	F130TDU相当品	個	1	SS400: 垂鉛めっき

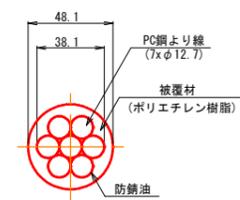
ケーブル長寸法表

	L1	L	本数
A1橋台	2060	2456	8
P1橋脚 (起点側)	2637	3033	8
P1橋脚 (終点側)	2060	2456	8
A2橋台	2381	2727	8

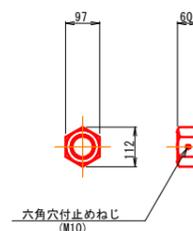
連結ケーブル



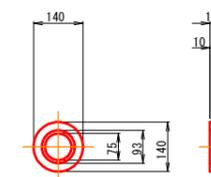
A-A断面図 S=1:2



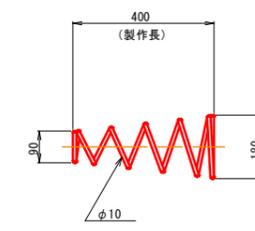
ナット (S45C: 垂鉛めっき)



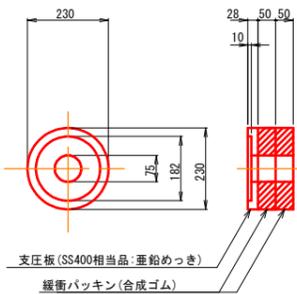
止めプレート (SS400相当品: 垂鉛めっき)



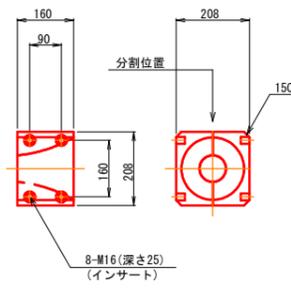
スプリング (SW-C: 垂鉛めっき, クロメート処理)



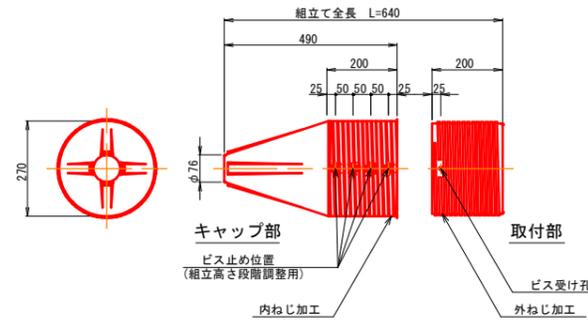
異型緩衝具 (支圧板+緩衝パッキン)



偏向具 (ポリエチレン)



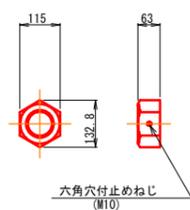
保護キャップ (ポリエチレン)



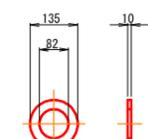
ブラケットピン (SCM435: DMコート)



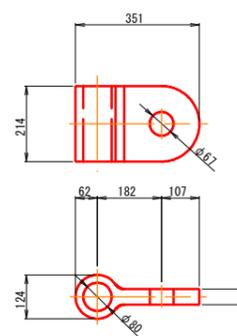
止めナット (S45C: 垂鉛めっき)



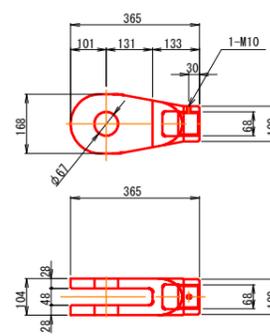
ワッシャー (SS400: 垂鉛めっき)



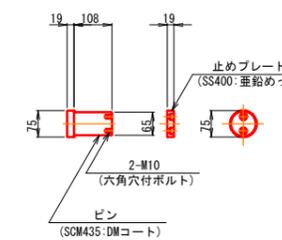
アイバー (S45C: 垂鉛めっき)



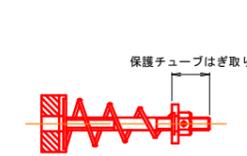
フォークエンド (S45C: 垂鉛めっき)



エンドピン (ピン+止めプレート)



マンション端部処理



注記

1. 連結ケーブルの製作は、現場にて取付間距離を確認のうえ、行うこと。
2. < >内の数値はG1, G4桁を示す。
3. 図中詳細寸法は、現地実測の上決定のこと。

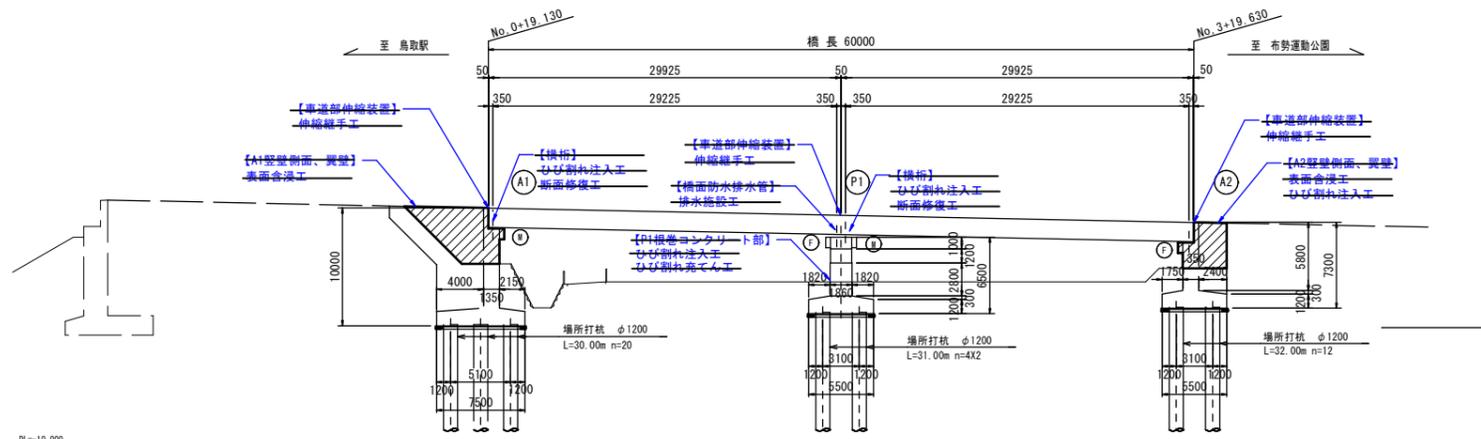
(R6) 現年 公共 実施設計

路線名	主要地方道鳥取野倉吉線		
位置	鳥取市 古海		
縮尺	図示	単位	mm
図号	全 20	葉中の内	15
令和 6 年度施行	鳥取県		
	鳥取県土整備事務所		

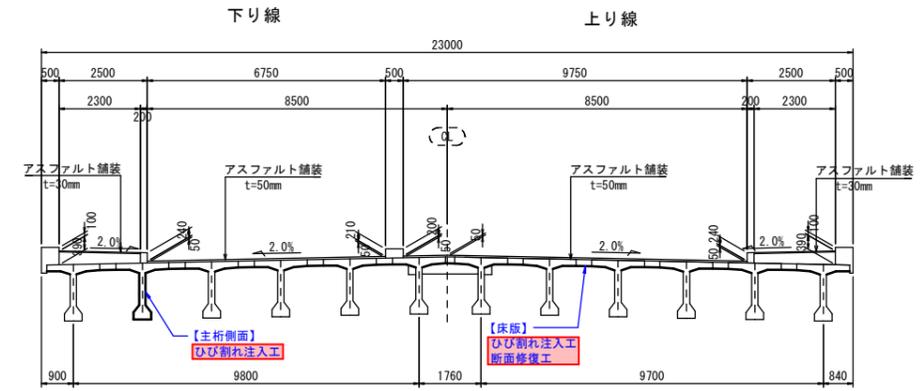
※取付前に保護チューブをはぎ取る。取付後はマンション先端ねじ部に防錆処理をおこなうこと。

古海1号橋 補修概要図

側面図 S=1/300

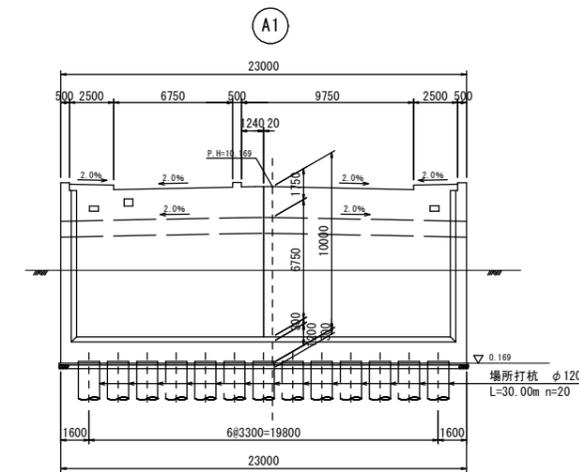


標準断面図 S=1/100

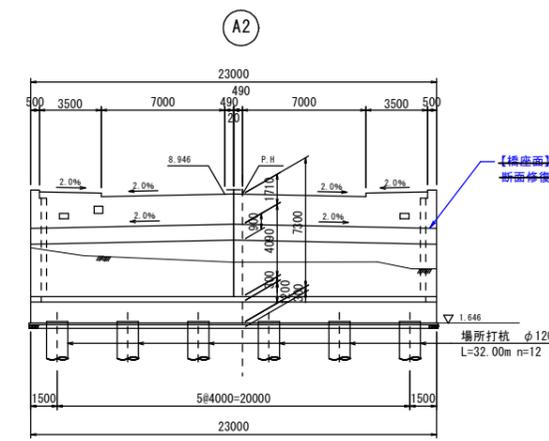
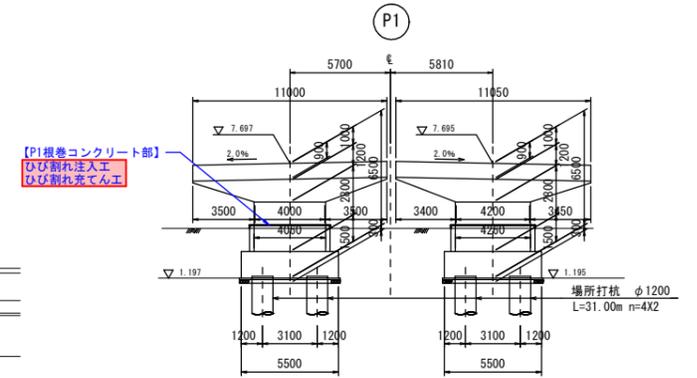
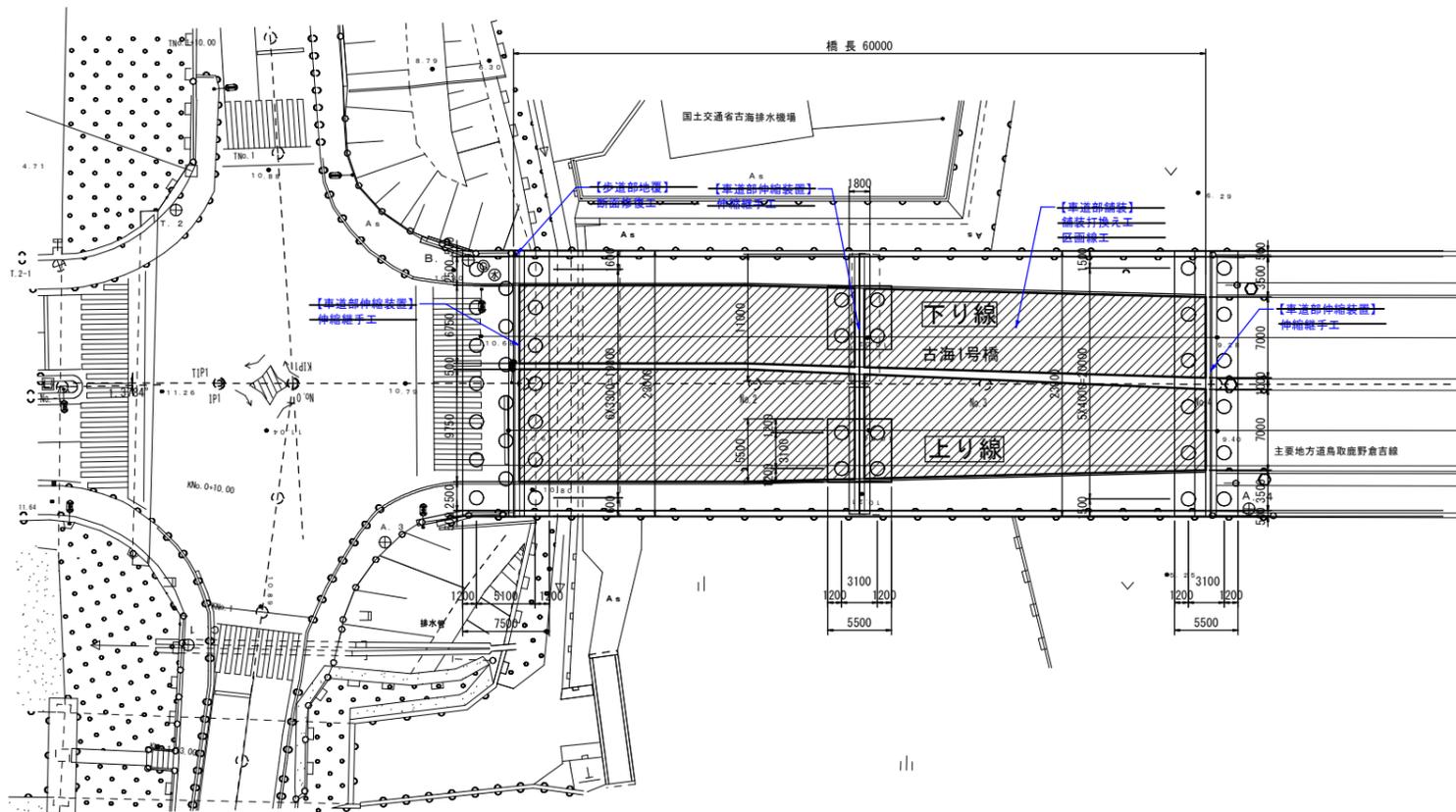


縦断勾配	L=239.84m i=2.04%	
盛土高		
切土高		
計画高		
地盤高		
追加距離		
単距離		
測点		
曲線	所れ点 1A+1' 22' 42"	
片勾配 すりつけ図	左側 -2.00%	右側 -2.00%
拡幅 すりつけ図	左側	右側

正面図 S=1/200



平面図 S=1/300

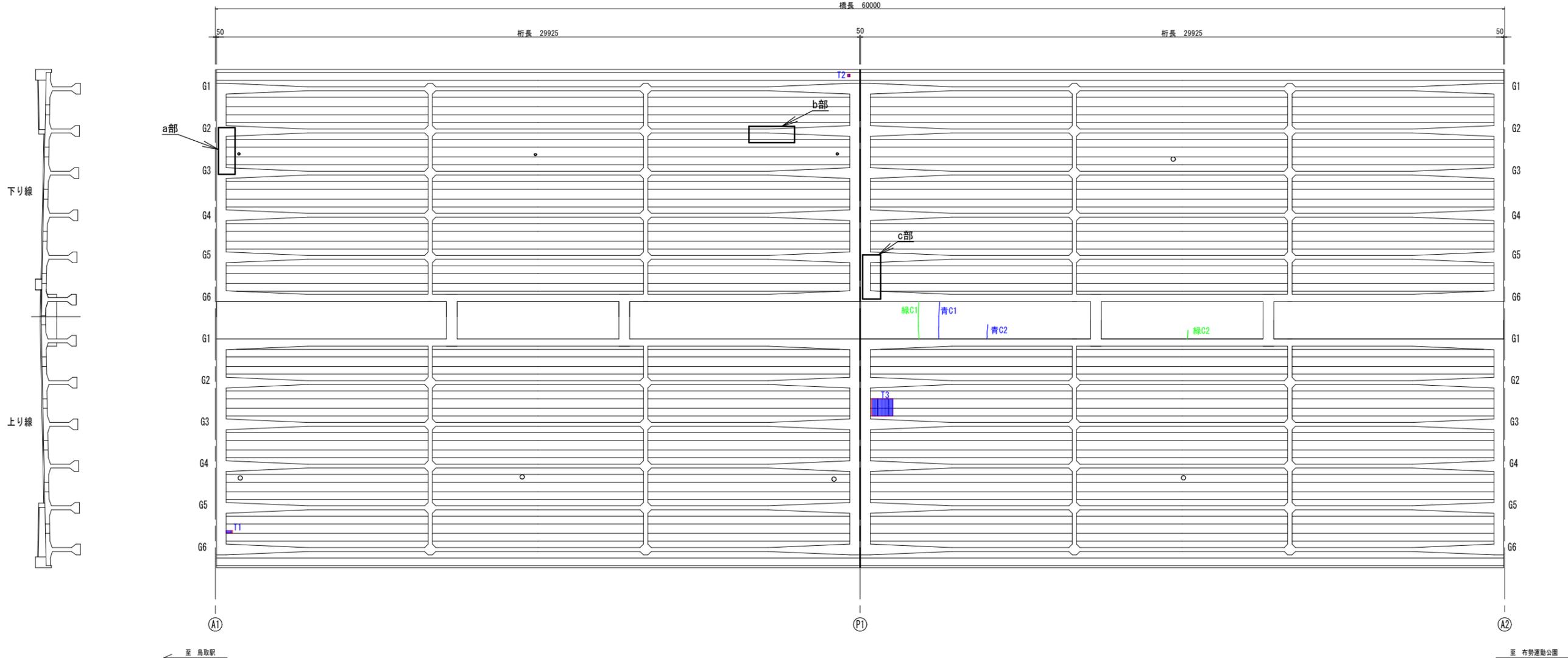


R6 現年(公)実施設計

路線名	主要地方道鳥取鹿野倉吉線		
県道鳥取鹿野倉吉線(古海1号橋)耐震補強工事(1工区)(補助橋補修)			
図名	古海1号橋 補修概要図		
位置	鳥取市 古海		
縮尺	図示	単位	mm
図号	全 20	葉中の内	16
令和 6 年度施行	鳥取県		
鳥取県土整備事務所			

古海1号橋 上部工補修図

平面図 S=1/100



ひびわれ注入工詳細図(参考)

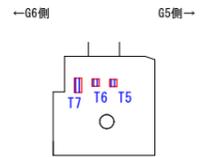
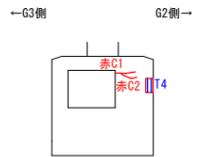
断面修復工詳細図(参考)

a部詳細図 S=1/50

c部詳細図 S=1/50

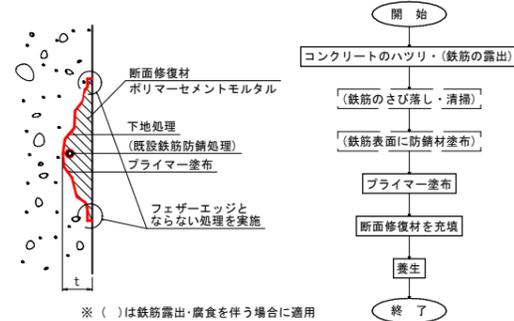
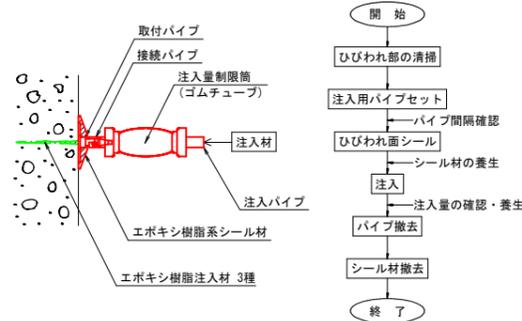
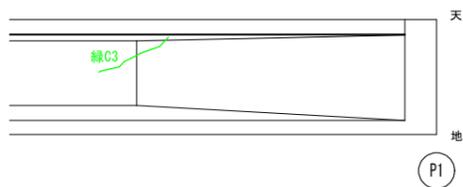
端横桁正面図

端横桁正面図



b部詳細図 S=1/50

G2主桁側面図 (G3側)



数量表 (ひび割れ注入工)

損傷No.	損傷数量	
	幅 (mm)	延長 (m)
緑G1	0.26	1.70
緑G2	0.30	0.40
緑G3	0.25	1.10
青C1	0.40	1.70
青C2	0.40	0.67
赤C1	0.70	0.29
赤C2	0.70	0.25
合計		1.64

数量表 (断面修復工)

損傷No.	損傷数量		
	横 (m)	縦 (m)	面積 (㎡)
T1	0.30	0.10	0.03
T2	0.10	0.10	0.01
T3	1.00	0.80	0.80
T4	0.10	0.20	0.02
T5	0.10	0.10	0.01
T6	0.10	0.10	0.01
T7	0.10	0.20	0.02
合計			0.06

凡例

表記	変状区分	補修方法
緑C 番号	ひび割れ 0.2mm < W ≤ 0.3mm	ひび割れ注入工
青C 番号	ひび割れ 0.3mm < W ≤ 0.5mm	ひび割れ注入工
赤C 番号	ひび割れ 0.5mm < W ≤ 1.0mm	ひび割れ注入工
U番号	うき・剥落	断面修復工 横×縦 (m) t=5cm
T番号	鉄筋・鋼材露出	断面修復工 横×縦 (m) t=5cm

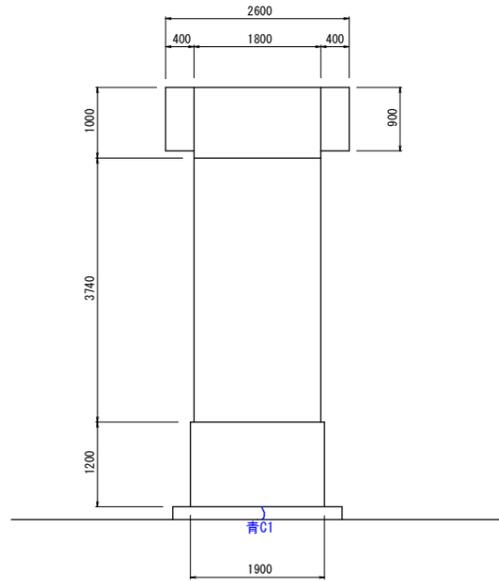
(R6) 現年 公共 実施設計

路線名	主要地方道鳥取野倉吉線		
鳥取県鳥取野倉吉線 (古海1号橋) 耐震補強工事 (1工区) (補助橋補修)			
図名	古海1号橋 上部工補修図		
位置	鳥取市 古海		
縮尺	図示	単位	mm
図号	全 20	葉中の内	17
令和 6 年度施行	鳥取県		
鳥取県土整備事務所			

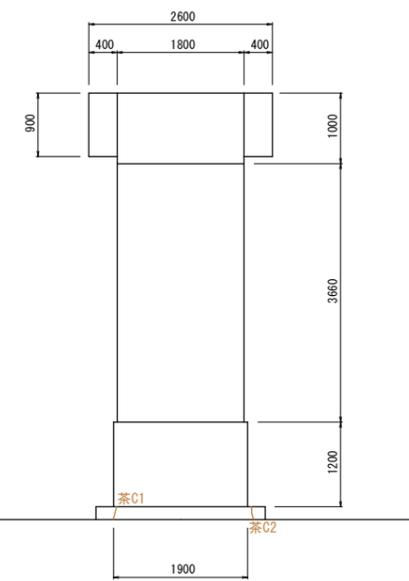
注) ※本図面は、既存資料等を基に概略で形状寸法を測定したものであるため、施工時は形状寸法等を実測により確認し、必要に応じて修正を行うこと。
※外気温が5℃以下になると、補修材料の凝結硬化・可使用時間・強度発現等が著しく損なわれるため、冬の施工は極力避けること。やむを得ず冬の施工となる場合は、材料の品質を確保できるような養生管理等を行うこと。
※補修対象外の損傷は表示していない。

P1橋脚 (上り線)

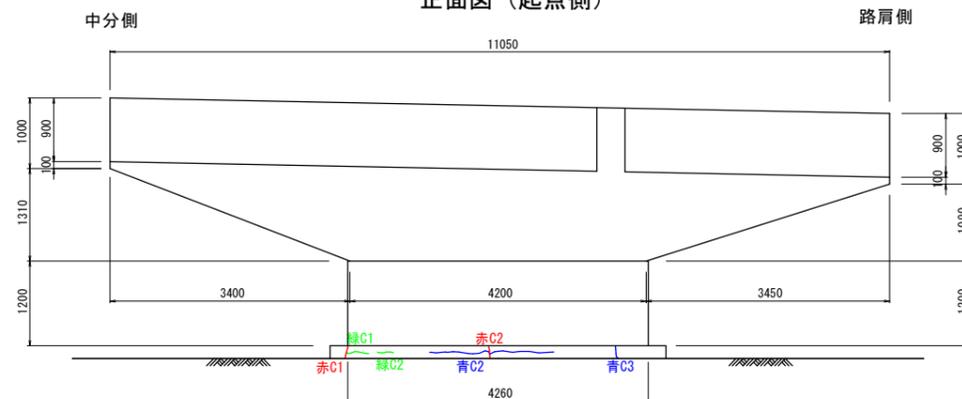
側面展開図 (中分側)



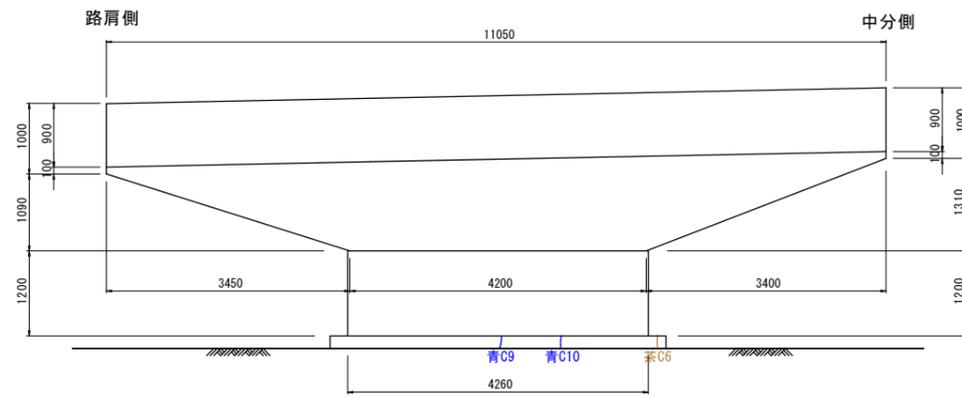
側面展開図 (路肩側)



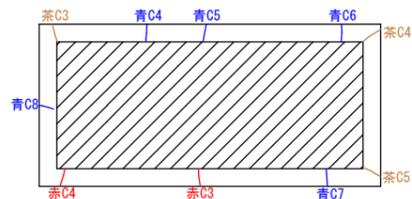
正面図 (起点側)



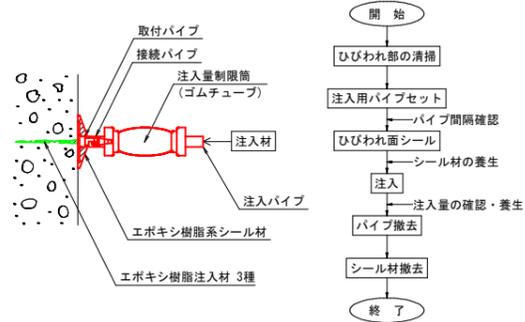
正面図 (終点側)



基礎部



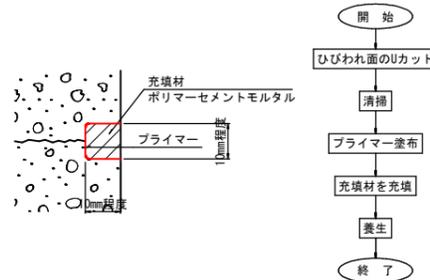
ひびわれ注入工詳細図 (参考)



数量表 (ひびわれ注入工)

損傷No.	損傷数量	
	幅 (mm)	延長 (m)
P1橋脚 (上り線)		
緑C1	0.30	0.38
緑C2	0.30	0.30
青C1	0.40	0.20
青C2	0.50	1.81
青C3	0.40	0.19
青C4	0.40	0.25
青C5	0.45	0.25
青C6	0.50	0.25
青C7	0.40	0.25
青C8	0.40	0.21
青C9	0.45	0.18
青C10	0.40	0.18
赤C1	0.80	0.26
赤C2	0.60	0.18
赤C3	0.60	0.25
赤C4	0.80	0.26
合計		4.65

ひびわれUカット充てん工詳細図 (参考)



数量表 (ひびわれ充てん工)

損傷No.	損傷数量	
	幅 (mm)	延長 (m)
P1橋脚 (上り線)		
茶C1	1.20	0.18
茶C2	2.25	0.18
茶C3	1.50	0.26
茶C4	2.25	0.30
茶C5	1.20	0.28
茶C6	1.60	0.18
合計		0.46

凡例

表記	変状区分	補修方法
緑C番号	ひび割れ 0.2mm < W ≤ 0.3mm	ひび割れ注入工
青C番号	ひび割れ 0.3mm < W ≤ 0.5mm	ひび割れ注入工
赤C番号	ひび割れ 0.5mm < W ≤ 1.0mm	ひび割れ注入工
茶C番号	ひび割れ 1.0mm < W	ひび割れ充てん工

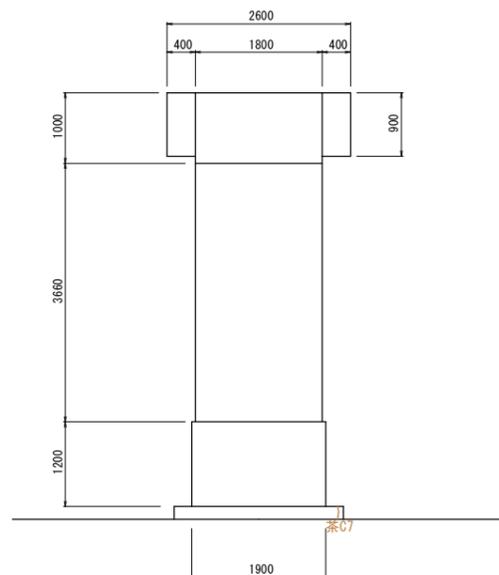
注) ※本図面は、既存資料等を基に概略で形状寸法を測定したものであるため、施工時は形状寸法等を実測により確認し、必要に応じて修正を行うこと。
※外気温が5℃以下になると、補修材料の凝結硬化・可使用時間・強度発現等が著しく損なわれるため、冬の施工は極力避けること。やむを得ず冬の施工となる場合は、材料の品質を確保できるよう養生管理等を行うこと。
※補修対象外の損傷は表示していない。

路線名	主要地方道鳥取野倉吉線		
県道鳥取野倉吉線 (古海1号橋) 耐震補強工事 (1工区) (補助橋補修)			
図名	古海1号橋 下部工補修図 (その3)		
位置	鳥取市 古海		
縮尺	図示	単位	mm
図号	全 20	葉中の内	18
令和 6 年度施行			鳥取県
鳥取県土整備事務所			

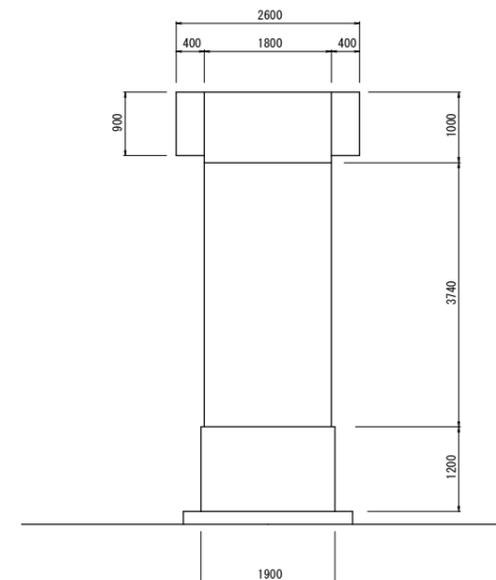
R6 現年
公共 実施設計

P1橋脚 (下り線)

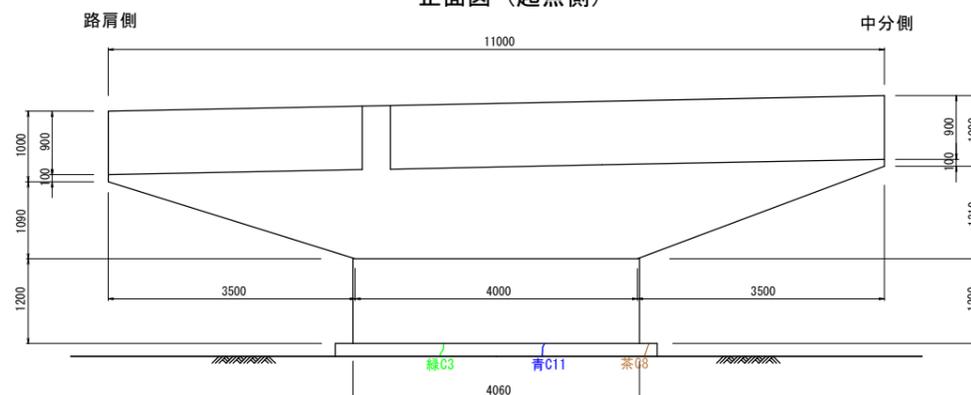
側面展開図 (路肩側)



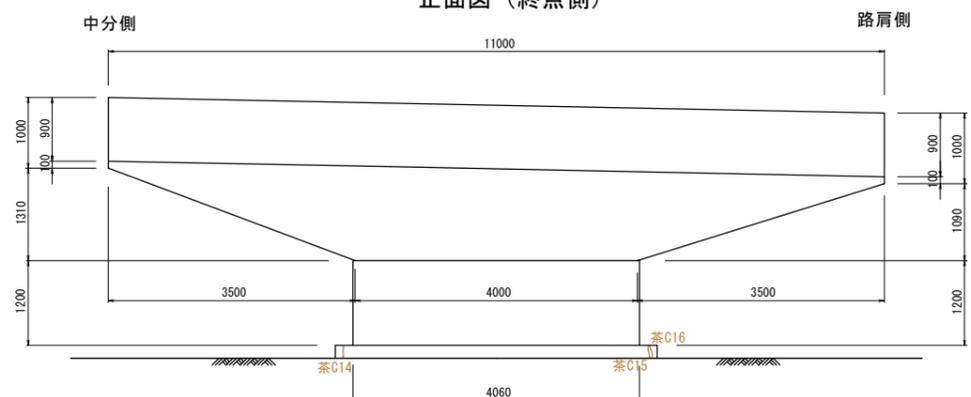
側面展開図 (中分側)



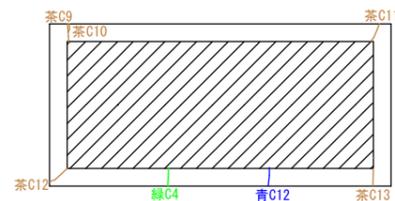
正面図 (起点側)



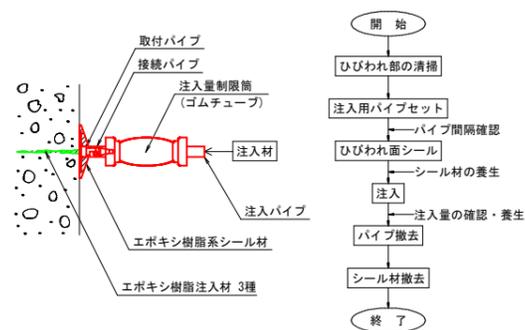
正面図 (終点側)



基礎部



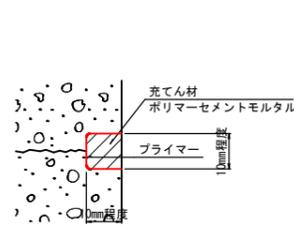
ひびわれ注入工詳細図 (参考)



数量表 (ひび割れ注入工)

P1橋脚 (下り線)		
緑C3	0.30	0.19
緑C4	0.30	0.25
青C11	0.40	0.20
青C12	0.50	0.25
合計	0.89	

ひびわれUカット充てん工詳細図 (参考)



数量表 (ひび割れ充てん工)

P1橋脚 (下り線)		
茶C7	4.00	0.18
茶C8	1.10	0.19
茶C9	5.00	0.25
茶C10	5.00	0.12
茶C11	1.50	0.20
茶C12	4.00	0.32
茶C13	1.10	0.25
茶C14	1.50	0.18
茶C15	5.00	0.19
茶C16	5.00	0.18
合計	0.94	

凡例

表記	変状区分	補修方法
緑C 番号	ひび割れ 0.2mm < W ≤ 0.3mm	ひび割れ注入工
青C 番号	ひび割れ 0.3mm < W ≤ 0.5mm	ひび割れ注入工
茶C 番号	ひび割れ 1.0mm < W	ひび割れ充てん工

注) ※本図面は、既存資料等を基に概略で形状寸法を測定したものであるため、施工時は形状寸法等を実測により確認し、必要に応じて修正を行うこと。
※外気温が5℃以下になると、補修材料の凝結硬化・可使用時間・強度発現等が著しく損なわれるため、冬の施工は極力避けること。やむを得ず冬の施工となる場合は、材料の品質を確認できるような養生管理等を行うこと。
※補修対象外の損傷は表示していない。

路線名	主要地方道鳥取鹿野倉吉線		
県道鳥取鹿野倉吉線 (古海1号橋) 耐震補強工事 (1工区) (補助橋補修)			
図名	古海1号橋 下部工補修図 (その4)		
位置	鳥取市 古海		
縮尺	図示	単位	mm
図号	全 20	葉中の内	19
令和 6 年度施行	鳥取県		
鳥取県土整備事務所			

R6 現年
公 共 実施設計

古海1号橋 排水管補修図

排水施設工

上り線P1橋脚起点側 S=1/20

下り線P1橋脚起点側 S=1/20

(a部)

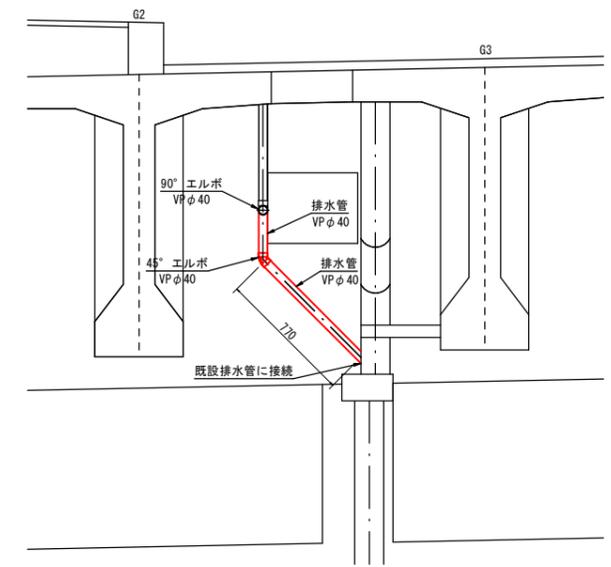
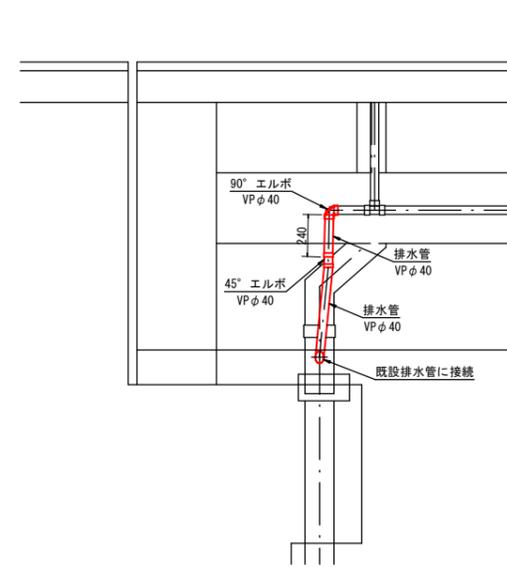
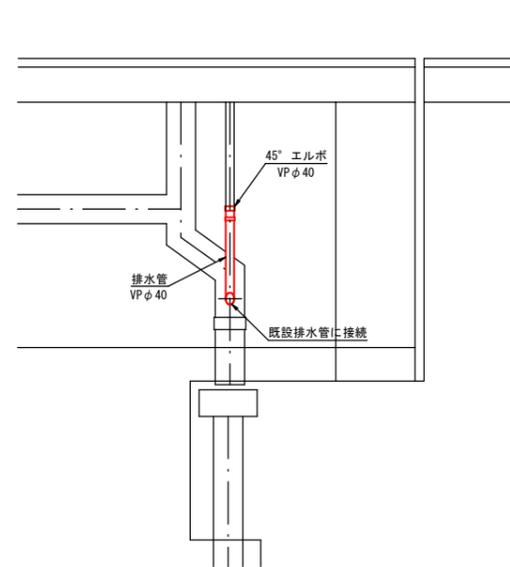
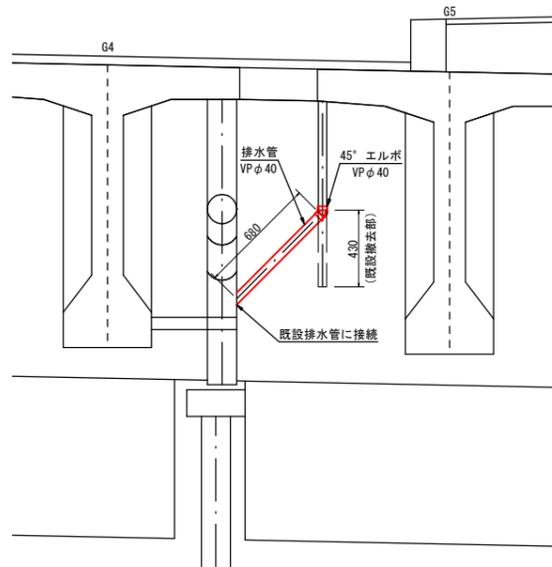
(b部)

正面図

側面図

側面図

正面図

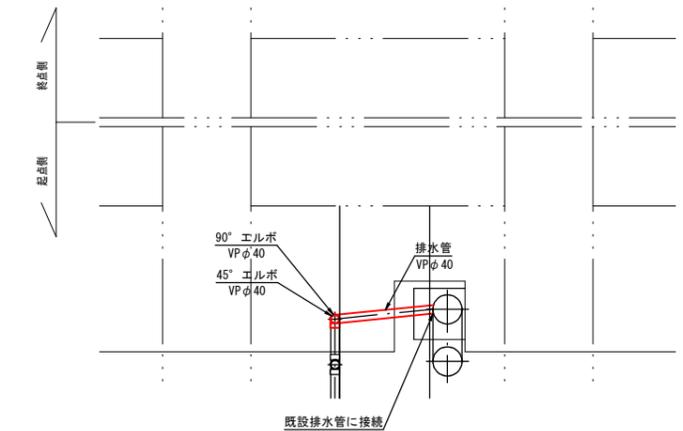
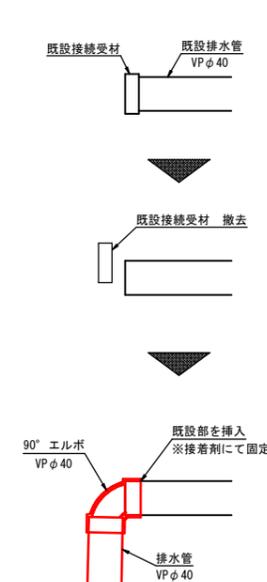
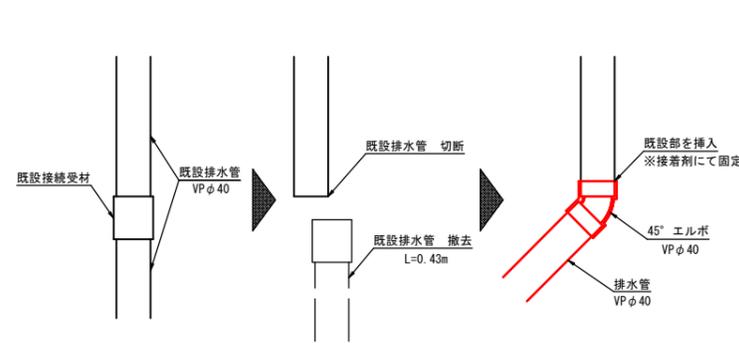
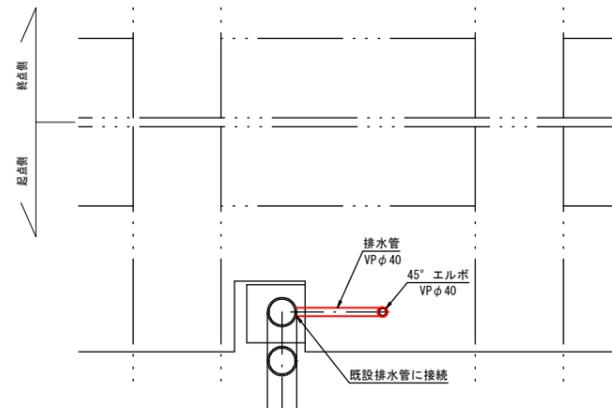


平面図

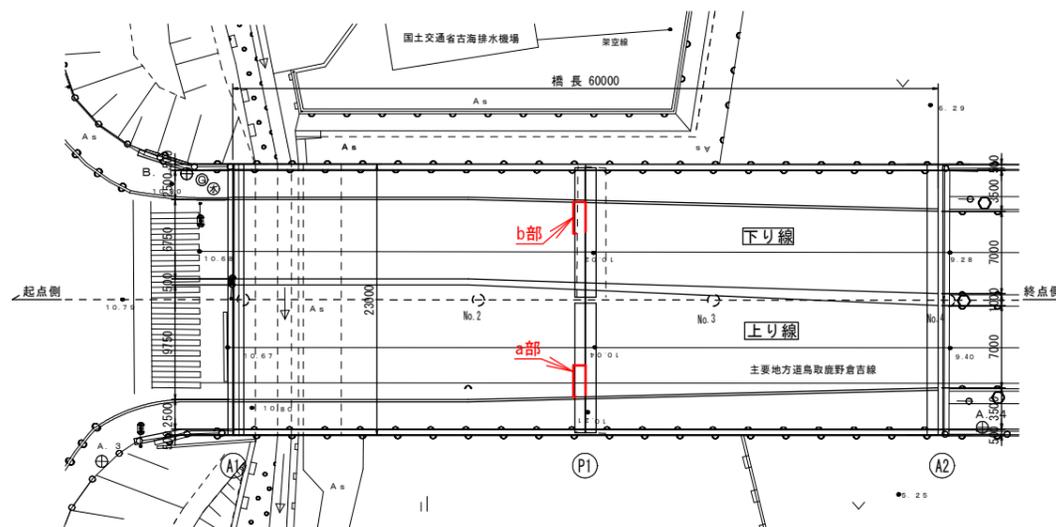
排水管接合図 S=1/5

排水管接合図 S=1/5

平面図



位置図 S=1/300



数量表 (排水施設工)

細別	規格	単位	数量	備考
排水管	VP φ40	m	1.69	a部とb部の合計
	45° エルボ VP φ40	個	2	a部とb部の合計
	90° エルボ VP φ40	個	1	

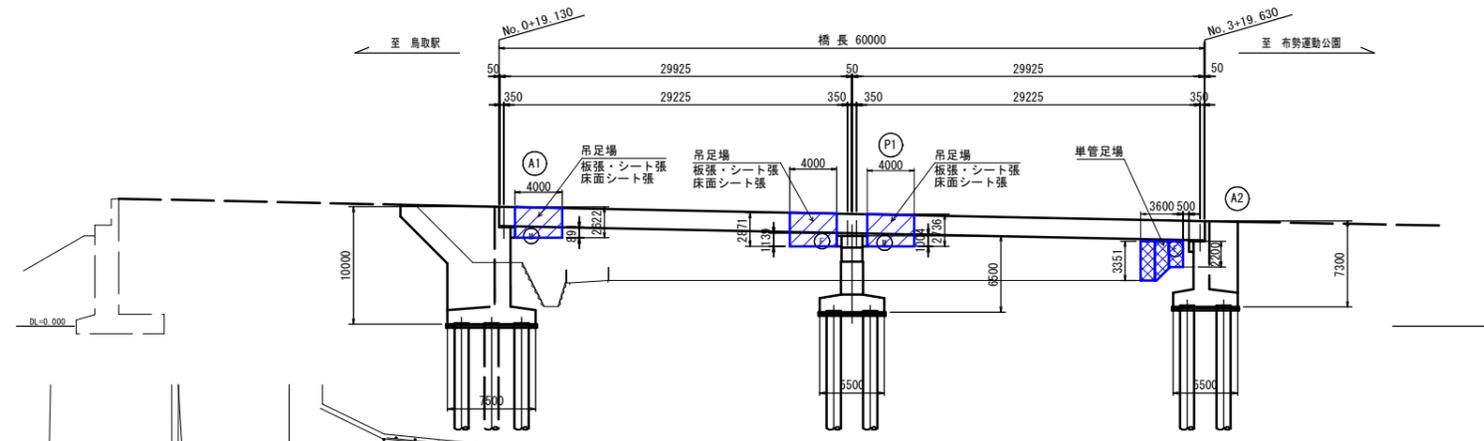
注) ※本図面は、既存資料等を基に概略で形状寸法を測定したものであるため、施工時は形状寸法等を実測により確認し、必要に応じて修正を行うこと。
 ※外気温が5℃以下になると、補修材料の凝結硬化・可使用時間・強度発現等が著しく損なわれるため、冬の施工は極力避けること。やむを得ず冬の施工となる場合は、材料の品質を確認できるように養生管理等を行うこと。
 ※補修対象外の損傷は表示していない。

R6 現年
 公共 実施設計

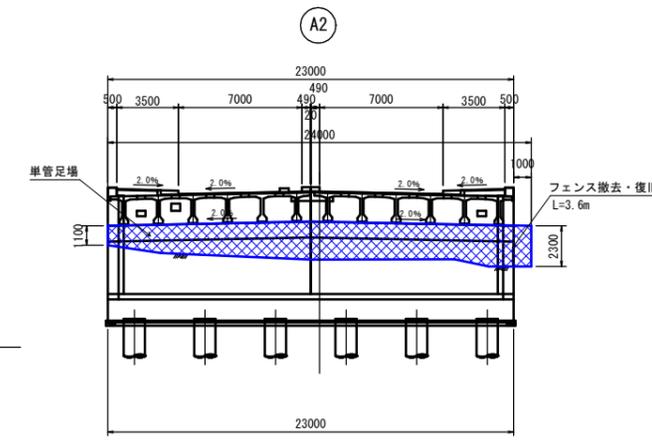
路線名	主要地方道鳥取鹿野倉吉線		
県道鳥取鹿野倉吉線 (古海1号橋) 耐震補強工事 (1工区) (補助橋補修)			
図名	古海1号橋 排水管補修図		
位置	鳥取市 古海		
縮尺	図示	単位	mm
図号	全 20	葉中の内	20
令和 6 年度施行	鳥取県		
鳥取県土整備事務所			

古海1号橋 仮設参考図

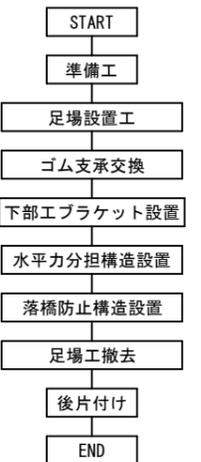
側面図 S=1/300



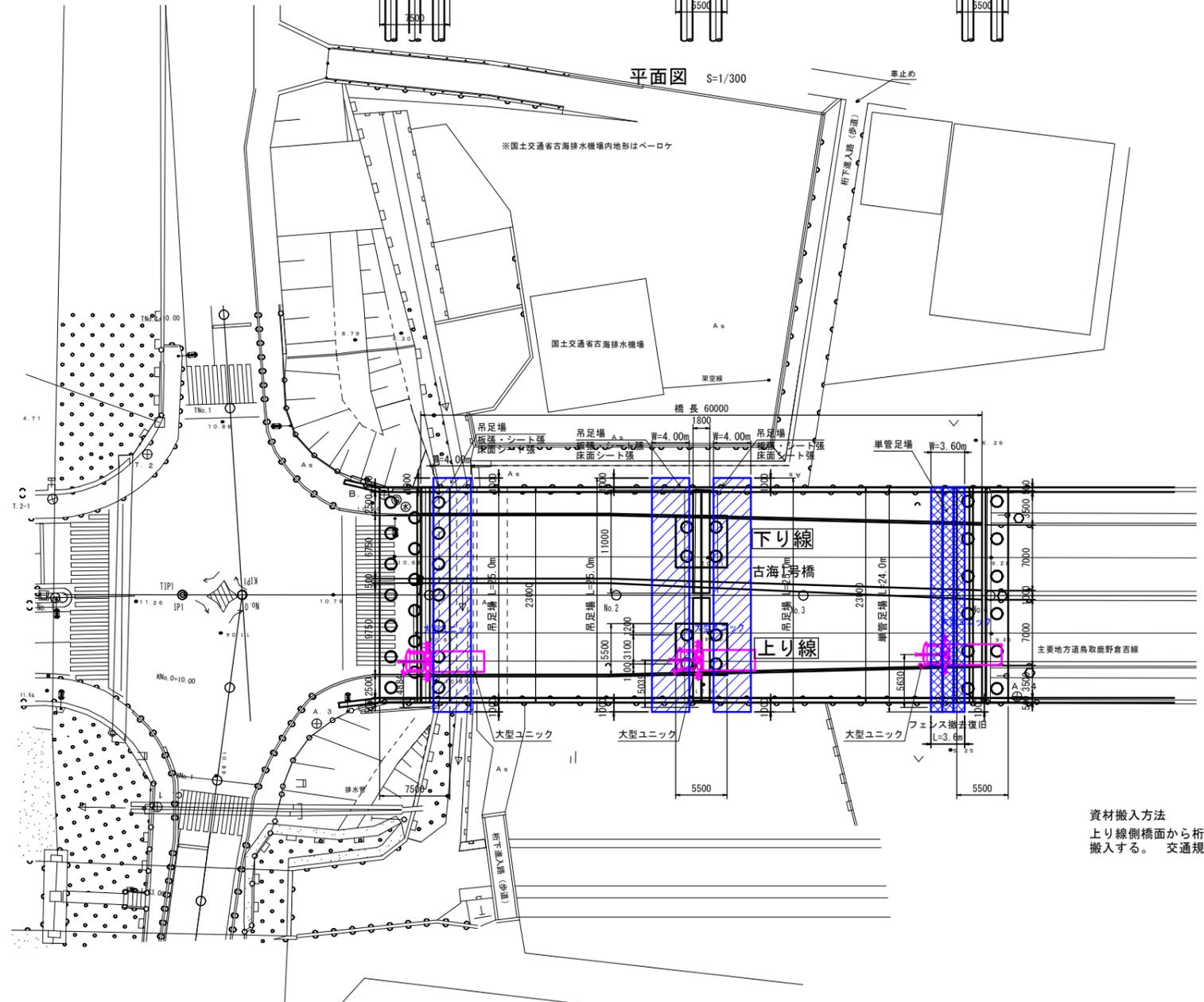
正面図 S=1/200



施工手順 (案)



平面図 S=1/300



大型ユニック
ブーム長 = 8.59 m
作業半径 = 6.0 m
定格総荷重 = 1.13 t
吊上質量※ = 1.0 t
負荷率 = 88 %

凡例

表記	足場分類
	吊足場
	単管足場

※本図面は、既存資料等を基に概略で形状寸法を測定したものであるため、足場設置時は形状等を確認し、必要に応じて修正を行うこと。
※本仮設計画は一案であり、現地状況・施工条件に応じて都度施工計画を立案すること。
※補修工事においては、防護工等の十分な養生管理を行い、周辺への粉塵等の飛散を防止すること。

資材搬入方法
上り線側橋面から桁下の足場まで、ユニックを使用し、搬入する。交通規制が必要である。

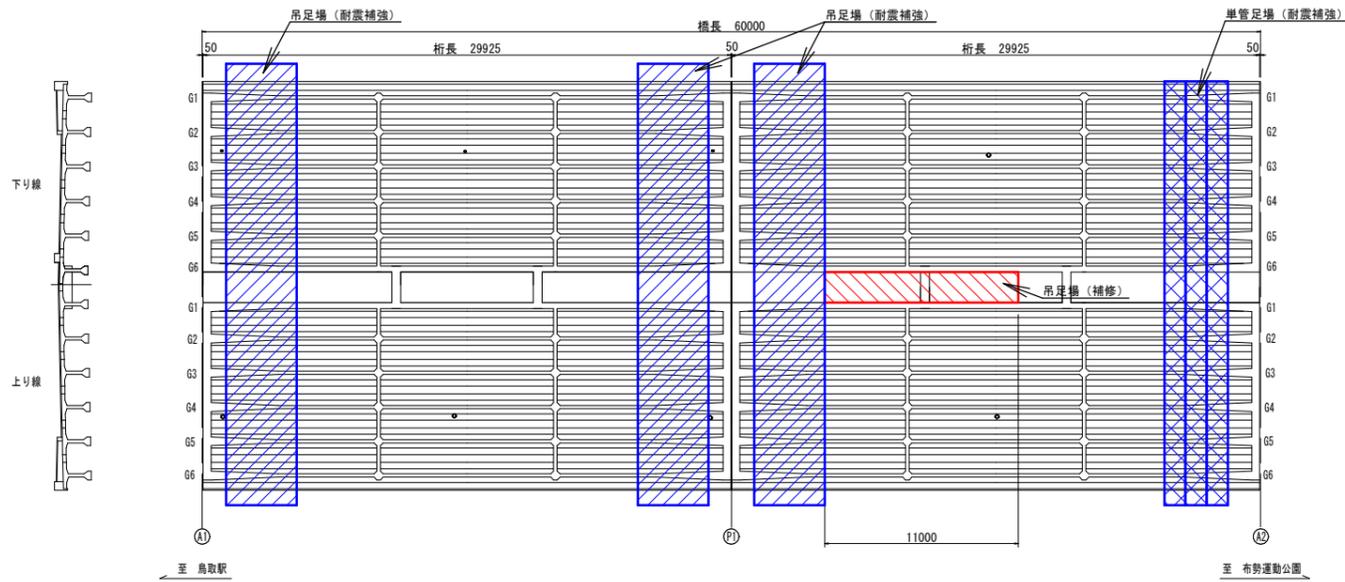
古海1号橋 耐震補強工事

路線名	主要地方道鳥取鹿野倉吉線		
県道鳥取鹿野倉吉線 (古海1号橋) 耐震補強工事 (1工区) (補助橋補修)			
図名	古海1号橋 仮設参考図		
位置	鳥取市 古海		
縮尺	図示	単位	mm
図号	全 2	葉中の内	1
令和 6 年度施行	鳥取県		
鳥取県土整備事務所			

R6 現年
公共 実施設計

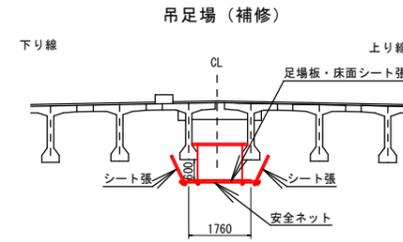
古海1号橋 仮設参考図

平面図 S=1/200

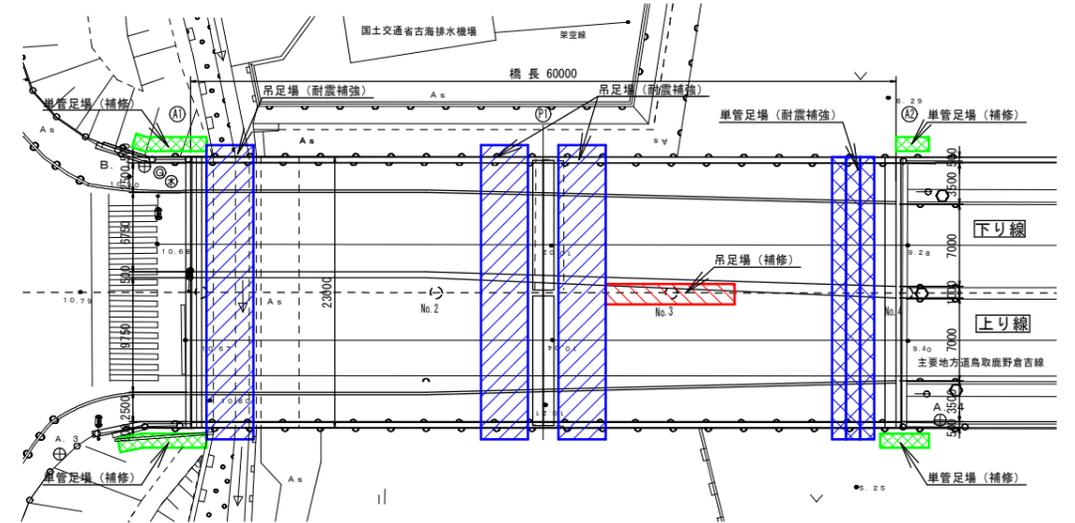


注) ※補修工事と耐震補強工事を同時施工とし、足場を兼ねるものとする。

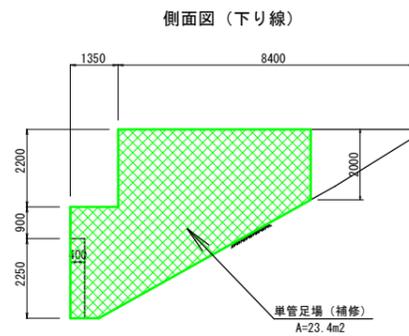
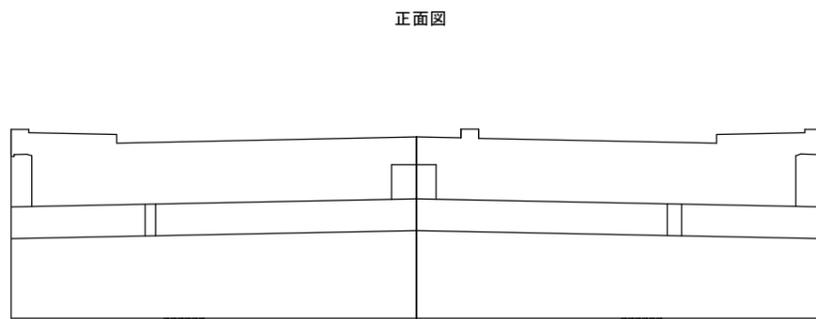
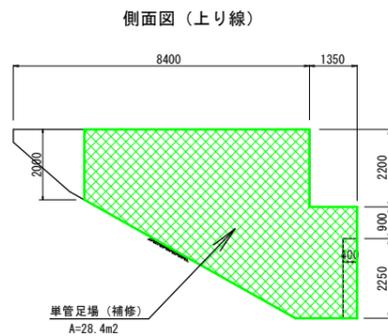
断面図 S=1/100



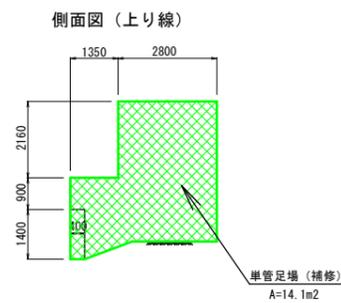
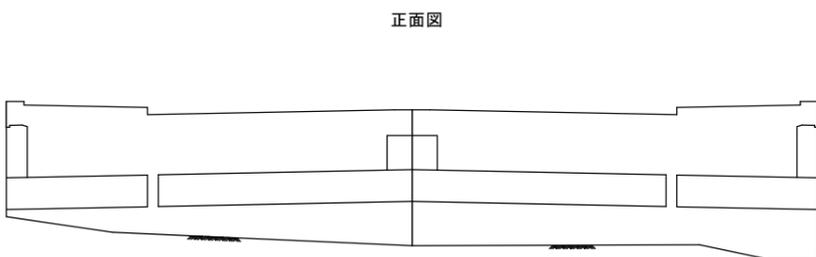
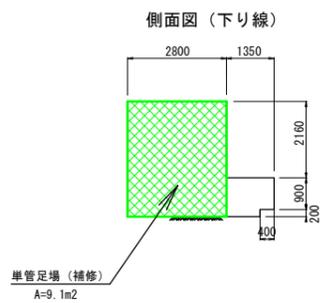
位置図 S=1/300



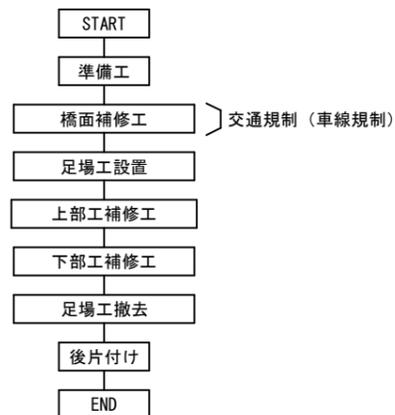
A1橋台 S=1/100



A2橋台 S=1/100



施工手順 (案)



凡例

表記	足場分類	備考
	吊足場	耐震補強工事で計上
	単管足場	
	吊足場	補修工事で計上
	単管足場	

注) ※本図面は、既存資料等を基に概略で形状寸法を測定したものであるため、足場設置時は形状寸法等を実測により確認し、必要に応じて修正を行うこと。
 ※本仮設計画は一案であり、現地状況・施工条件に応じて都度施工計画を立案すること。
 ※補修工事においては、防護工等の十分な養生管理を行い、周辺への粉塵等の飛散を防止すること。

古海1号橋 補修工事			
路線名	主要地方道鳥取鹿野倉吉線		
県道鳥取鹿野倉吉線 (古海1号橋) 耐震補強工事 (1工区) (補助橋補修)			
図名	古海1号橋 仮設参考図		
位置	鳥取市 古海		
縮尺	図示	単位	mm
図号	全 2	葉中の内 2	
令和 6 年度施行	鳥取県		
鳥取県土整備事務所			

R6 現年
 公共 実施設計